

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報

Version 3.2.0

平成18年9月22日

社団法人日本医師会

注意事項

- (1)本パッケージは平成 18年 10月診療報酬改定に対応したパッケージです。
 本リリース情報は診療報酬改定以外の情報を記載したものです。
 診療報酬改定の対応については別途「平成 18年 10月診療報酬改定対応」によりご確認ください。

(2)請求書兼領収書プログラムのカスタマイズについて

<p>以下の変更による請求書兼領収書プログラムの修正情報があります。</p> <p>外来請求書件領収書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一括入金時の領収書月まとめ出力対応 ・領収書再発行機能(複数科含む)対応 ・月次統計の外来月別請求書件領収書発行対応 <p>入院請求書件領収書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期請求発行日での病棟等情報印字対応 ・入院時生活療養費対応 	<p>請求書兼領収書プログラムのカスタマイズを実施されている場合は、必ず見直しを行い動作検証を行ってください。 「ユーザカスタマイズ留意事項」の「請求書兼領収書の変更について」を参照してください。</p> <p>注意事項 バージョン3.1.0で医科点数表部別対応を行っておりますので3.1.0のリリース情報も合わせてご参照ください。</p>
---	---

(3)処方せんプログラムのカスタマイズについて

<p>高齢者7割給付により備考欄の記載内容を変更します。これによる処方せんプログラムの修正情報があります。</p>	<p>処方せんプログラムのカスタマイズを実施されている場合は、必ず見直しを行い動作検証を行ってください。 「ユーザカスタマイズ留意事項」の「備考欄記載の変更について」を参照してください。</p> <p>注意事項 バージョン3.0.0で後発医薬品区分の変更対応を行っておりますので3.0.0のリリース情報も合わせてご参照ください。</p>
---	---

(4) 設定ファイルの変更 (その 1)

設定ファイル` /etc/jma-receipt/jma-receipt.env`
 ==> あなたかスクリプトによって設定ファイルが作成されています。
 ==> パッケージメンテナが提供するパッケージにもこのファイルが存在します。
 どうしますか? 以下の選択肢があります:
 Y か I : パッケージメンテナのバージョンをインストールする
 N か O : 現在インストールされている自分のバージョンを残す
 D : 両バージョンの差異を表示する
 Z : この処理をバックグラウンドにし、状況を確認する
 デフォルトでは現在使っている自分のバージョンを残します。
 *** jma-receipt.env (Y/I/N/O/D/Z) [デフォルト=N] ?

パッケージアップグレード処理中にユーザのシステム環境状態によっては、左記の内容の設定確認が表示されます。

「Y」と入力して進めます。

(5) 設定ファイルの変更 (その 2)

設定ファイル` /etc/jma-receipt/jma-receipt.conf`
 ==> あなたかスクリプトによって設定ファイルが作成されています。
 ==> パッケージメンテナが提供するパッケージにもこのファイルが存在します。
 どうしますか? 以下の選択肢があります:
 Y か I : パッケージメンテナのバージョンをインストールする
 N か O : 現在インストールされている自分のバージョンを残す
 D : 両バージョンの差異を表示する
 Z : この処理をバックグラウンドにし、状況を確認する
 デフォルトでは現在使っている自分のバージョンを残します。
 *** jma-receipt.conf (Y/I/N/O/D/Z) [デフォルト=N] ?

パッケージアップグレード処理中に左記の内容の設定確認が表示されます。

「Y」と入力して進めます。

この設定ファイルを変更していた場合は、パッケージメンテナのバージョンをインストールしそれに対して改めて設定を変更してください。

(6) プログラムのカスタマイズにおけるMONFUNC、DBCLOSECURSOR対応について

メモリ使用量削減のためデータベースアクセス方法の見直しを行っています。また、今後PostgreSQLのバージョンが上がると明示的にOPENしたカーソルのCLOSE処理をしないとアプリケーションが停止することがあります。よって、プログラムのカスタマイズを行っている場合は必ず見直しを行い動作検証を行ってください。

「ユーザカスタマイズ留意事項」の「データベースアクセス関数「MONFUNC」対応について」を参照してください。

(7) 処理時間について

<p>パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。 変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能(スペック)にもよりますがかなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。 お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。</p>	
---	--

(8) 入院オーダについて

CLAIM接続による入院オーダの取り込みを参考提供として開始しました。	
-------------------------------------	--

パッケージファイルについて

<p>jma-receipt_3.2.0-1+0jma1_i386.deb (無床診療所版) jma-receipt-hosp_3.2.0-1+0jma1_i386.deb (入院版)</p>
--

データベース構造変更処理

1. テーブルスキーマの追加、変更

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) 入院オーダ項目テーブルを追加しました。 (2) 療養レセプトコメントテーブルを追加しました。 (3) 入院オーダテーブルを変更しました。 (4) レセプト明細書テーブルを変更しました。 (5) 収納テーブルを変更しました。 (6) 収納(プレビュー)テーブルを変更しました。 (7) 年金履歴テーブルを変更しました。 (8) ビュー(view_bd002)を変更しました。 |
|---|

2. テーブルデータの追加、変更

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) 新規統計表を追加しましたのでパラメタの説明等を追加しました。 (2) 入院基本料テーブルに新設された入院料を追加しました。 (3) システム管理テーブルの入院料関係を見直しました。 |
|--|

パッケージ依存関連

(1) MONTSUQIのバージョンは以下のとおりです。
panda-server (>= 1.2.6) 現時点での最新は1.2.7です。

再起動について

「日レセ」パッケージを更新するとアプリケーションは自動で再起動しますがサブプロセスが終了できずそのまま残る場合があります。
パッケージ更新後、再起動をしていただくときれいな状態でアプリケーションが起動できます。

テーブル構造変更の確認について

業務メニュー画面の「マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード(インストール)が完了すると「構造ver(自)」及び「構造ver(ORCA)」の表示は次のようになります。

S-030200-1-20060921-1」(平成18年9月22日現在)

パッケージアップグレードの前に

操作に先立って必ずバックアップをおこなってください。

バックアップの方法

kterm などから以下のコマンドを入力します。

\$ pg_dump -R orca > バックアップファイル名

マスタ更新データの提供について

マスタ更新について

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新 (F12)」を選択すると更新処理を開始します。

更新が完了すると(「状況 (F11)」を選択してください。)「レコードver(自)」及び「レコードver(ORCA)」の表示は次のようになります。

点数マスタ: R-020800-2-20060922-2 (平成 18年 9月 22日現在)

【注意】

(1) パッケージをインストール / アップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「マスタ更新」を行ってください。

(2) 操作に先立ってバックアップをとることを推奨します。

バックアップの方法

ktermなどから以下のコマンドを入力します。

\$ pg_dump -R orca > バックアップファイル名

パッケージアップグレードの方法について

/etc/apt/sources.list のエントリに以下の記述があるか確認をしてください。なければ追加あるいは変更してください。

```
(woody)
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian woody jma
```

```
(sarge)
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian sarge jma
```

アップグレードするため方法

ktermなどから以下のコマンドを入力します。(root権限)
(sargeでaptitudeを使用する場合はapt-getをaptitudeに読み替えてください。)

```
# apt-get update
# apt-get dist-upgrade
```

sudoの設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo apt-get update
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

【注意】

パッケージをインストール / アップグレードした後は、プログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。
緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

12 患者

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
1	ncp 20060803-010	<p>27老人の有効期間の開始日と終了日を医療証に記載してあるとおりに入力しています。</p> <p>例1)主保険 社保 公費1段目 27老人2割 平成17年8月1日～平成18年7月31日 公費2段目 27老人1割 平成16年8月1日～平成17年7月31日 公費3段目 27老人2割 平成15年8月1日～平成16年7月31日</p> <p>例2)主保険 国保 公費1段目 27老人2割 平成17年8月1日～平成18年7月31日 公費2段目 27老人1割 平成16年8月1日～平成17年7月31日 公費3段目 27老人2割 平成15年8月1日～平成16年7月31日</p> <p>上記の状態、平成18年8月1日に新しい27老人の医療証を持ってこられたとします。既に公費の入力欄が3段とも埋まっている為、公費追加ボタンを押します。このとき、例1)の場合は公費の入力欄が一段空いて、公費の追加が可能となりますが、例2)の場合には「老人割合が入力されていません。公費を作成して下さい。」というエラー情報が表示されてしまい、公費の追加が行えません。</p> <p>質問1 主保険の種類が異なる事によりなぜ動作に違いがあるのでしょうか？</p> <p>質問2 「老人割合が入力されていません。公費を作成して下さい。」というエラー情報が表示された後、 「閉じる」としても公費追加ができないのはどうしてでしょうか？</p> <p>有効期間が終了していても、確認表示後に公費追加ができるようにして下さい。</p> <p>27老人は1年毎に医療証発行と所得に応じた割合変更がありますので、この医院様では開始日と終了日を医療証の記載の通りに入力されています。新しい医療証を持ってこられるのは8/1以降になりますので、当然のことながら、前の医療証の期限は切れていることになります。上記のことからも、有効期間終了後に追加が必要である事がご理解頂けるのではと思います。環境設定で日付を変更して入力する、または、27老人の期限を一時的に延ばして入力する、等の方法は医療証の終了日を入力されている医療機関様にとってはデメリットでしかありません。</p>	<p>公費の追加で、前期高齢者以上の年齢で前期高齢者の補助区分に設定がなく、老人公費の有効期限外の保険が存在した場合、老人割合が入力されていません。公費を作成して下さい。」が表示され、公費追加ができませんでしたので公費追加時にはこのチェックを行わないように修正しました。</p>	H18.8.25

13 照会

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
1	お電話でのお問い合わせ 8月11日 - 照会	<p>患者番号構成を自由構成の英数に設定し照会画面で患者番号にて検索を行うと先頭の文字を大文字の英字とした場合は検索されるが、先頭の文字を小文字の英字とした場合に検索されないお問い合わせがありました。</p> <p>こちらの検証でa-001、a-002と小文字の英字を先頭に登録し照会で患者番号を開始をa-001～終了なしで検索した場合には検索されませんでした。</p> <p>先方では終了を入力しても表示されないとのことでしたがこちらでは終了を入力した場合には表示されました。</p> <p>先頭英字の場合に患者番号で検索した場合にはどのような条件で表示されるのでしょうか。</p>	<p>患者番号が自由構成の際に、患者番号の先頭が英字小文字で始まると患者番号を指定しての検索が正しく行えませんでしたので修正しました。</p>	H18.8.25

21 診療行為

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1		入院分入力で中途終了データ展開後、クリアボタンで診療内容を消去し中途終了データを削除した場合、削除がされていなかったので修正しました。		H18.8.1
2	お電話でのお問い合わせ 8月3日 - 処方せん料	3月以前の診療行為入力で先発品のみの方の場合に後発品を含むの処方せん料を算定してくるというお問い合わせがありました。後発医薬品欄が2となっている薬剤ですが4月以降の分はプログラム更新で改善されたが3月以前の分は改善されないとのこと。ご確認いただけますでしょうか。暫定処置として処方せん料は手入力していただくようにはお話ししております。	後発医薬品の判定について4月1日以降で動作するようにしていただきましたので3月以前でも同様の判定をするように修正しました。	H18.8.25
3	kk 04931	茨城県の医療福祉費制度改正に伴う診療報酬請求書及び診療報酬請求総括表の記載方法の変更について資料をFAXさせていただきます。	7月より茨城県公費の請求方法がレセプト請求へ変更になりました。 社保請求書において公費再掲欄へ地方公費の法別番号毎での印字が必要となりました。 既存の保険番号マスタをさらに細分化することにしました。 負担金計算において行っている茨城県の乳幼児、母父子家庭、重心の特殊処理について、追加された保険番号も同様の処理を行うよう対応しました。 (月中での受給者証の変更の対応)(外来のみ) 143(旧 母 父子家庭) 145(旧 乳児) 181(乳児) 182(幼児 3歳未満) 189(幼児 3歳以上) 188(母子家庭) 187(父子家庭) (食事の1/2を自己負担とする対応)(入院のみ) 146(旧重心) 183(重度心身障害者) 185(高齢障害)	H18.8.25

2.1 診療行為

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
4	kk 04942	<p>福岡県では3歳未満、およびH14年4月1日以降出生の児について、乳幼児医療で対応しています。4月の保険改定で2科目の初診料が同日受診に限り算定可能となりました。2科とも初診の場合は問題ないのですが、1科が前月から継続の再来で2科目の初診料(135点)がその月で最初の初診料となった場合、福岡県では初回の初診料の一部が自己負担になるという規則からその2割ないし3割は患者様の自己負担として徴収しなければならないということです。従って、国保請求分レセプトには自己負担分を給付外点数として上げる必要があります。また、月初めの初診料を135点で算定した場合、その後同月に初診料が発生しても自己負担にはならないこととなります。</p> <p>現在のORCAでは2科目初診料の135点の自己負担分を徴収できる設定になっておらず、また徴収した場合以後同月の初診料の自己負担が発生しないよう設定していただく必要があります。</p> <p>早急な対応をお願いいたします。</p>	福岡県公費をもつ患者が初診(同日複数診療科)を算定した場合に、給付外点数として計上されませんでしたので修正しました。	H18.8.25
5	kk 05227	山梨県の41老人の低所得の場合入院上限額が、¥24,600-との事ですが、マスタの保険者番号設定の低所得に設定しても窓口負担に反映しません。	<p>山梨県地方公費の対応について</p> <p>保険番号141について、低所得・低年金タブの設定を有効にするようにしました。</p> <p>保険番号マスタの設定を確認してください。</p>	H18.9.22

21 診療行為

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
6	kk 03887	今年の10月からの制度変更の資料です。	岡山県地方公費 10月改正の対応について < 外来 > ア) 保険番号 141、285、485、180、186について 患者登録の低所得1・2の設定に応じて、保険番号マスタの低所得・低年金のタブの設定を参照し、負担計算します。 < 入院 > ア) 保険番号 141、285、485、180、186について 患者登録の低所得1・2の設定に応じて、保険番号マスタの低所得・低年金のタブの設定を参照し、負担計算します。 イ) 保険番号 241について 上限額を80100円 + (総医療費 - 267000) × 1%) とし負担計算します。 ウ) 保険番号 385、280、286について 上限額を80100円 + (総医療費 - 801000) × 1%) とし負担計算します。 エ) 保険番号 585について 上限額を80100円 + (総医療費 - 2002500) × 1%) とし負担計算します。	H18.9.22
7	kk 04947	正式な通知が来ましたので内容を添付致しますのでよろしくお願い致します。 10月の制度変更時に間に合うようにお願い致します。	大分県地方公費 10月改正の対応について 乳幼児 : 保険番号 183、283について 外来 : 日上限 500円、月上限 4日 (3歳未満は2日) 入院 : 日上限 500円、月上限 14日 入院 外来ともに乳幼児医療に係る給付対象上限額 80100円を超える場合においては、超えた額を患者負担とします。	H18.9.22
8	nep 20060922-018	200床以上で外来診療料とともに外来管理加算が自動算定されています。Ver.3.0.0でもVer.3.1.0でも同様の現象がみられます。弊社のマシンでも同じ現象が確認できましたが、不具合なのではないでしょうか？	外来診療料を算定すると外来管理加算が自動発生していましたので修正しました。 ver2.9.1からの不具合でした。	H18.9.22

22 病名

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1	ncp 20060803-015	<p>自院病名登録で、 入力コード ien 病名 胃炎 疾患区分 空白 で登録しました。 実際、病名登録の画面の病名コード欄に ien と入力した場合は疾患区分は空欄で表示されます。しかし、「入力CD検索」より選んで登録すると疾患区分に「05特定疾患療養管理料」が表示されてしまいます。以前はこのような現象は起こりませんでしたが、先月中旬からこのような現象が起こるようになりました。なぜ起こるようになったのでしょうか？ 今まで通りに「入力CD」から選んでも疾患区分が表示されないように修正をお願いします。との事です。</p>	<p>自院病名検索時に移行先病名に変更したときに、移行先病名の疾患区分を記載するように修正しましたが、移行先病名がない場合にも病名マスタを参照して疾患区分を記載するようにしていました。 移行先病名に変更した場合のみ、病名マスタを参照するように修正しました。</p>	H18.8.25
2	support 20060808-015	<p>2番に「急性結膜炎」が登録されています。 これを「急性結膜炎、乱視」に修正したいので、乱視を追加しようと「入力CD検索」をクリックします。すると添付画像のようなエラーメッセージが表示されてしまいます。 もちろん急性結膜炎は自院病名として登録されています。 (入力CD検索をクリックすると表示される一覧に出えます) 何が悪いのでしょうか？</p>	<p>自院コードの7桁入力対応を行ったときに病名コードか自院コードかの区分の設定に誤りがあり、自院検索画面へ遷移できなくなっていましたので修正しました。 コラムリストから選択後、コード欄でenter を押下すると遷移ができるようになります。</p>	H18.8.25
3		<p>自院登録画面で登録済のコードを選択して再度登録することができませんでしたので修正しました。</p>		H18.8.25
4	ncp 20060905-008	<p>入力CDをつけたマスタを御客様に確認してもらおうと点数、約束、病名のリストを印刷しようとしたが点数マスタ、約束マスタのリストは印刷できるが 病名マスタだけ印刷できない。 [22 病名] 入力CD (Shift+F4) リスト(F9) の手順で行っているが、印刷されてこない。</p>	<p>プログラムに不具合がありましたので修正しました。</p>	H18.9.22

24 会計照会

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1	support 20060724-004	<p>以下の現象が発生いたしましたのでご報告いたします。こちらの現象の原因は何でしょうか？ こちらの医療機関様では、排他制御は行っておりません。</p> <p>< 現象 > 一部の患者にて、包括分で入力した診療行為の回数が診療行為入力画面と、会計照会の画面とで異なる。 添付ファイル 【hakuyo1.jpg】 会計照会画面 エボジン注シリンジ 1500 6月 8日 回数 2回 添付ファイル 【hakuyo2.jpg】 診療行為入力画面 6月 8日 回数 1回</p> <p>< 検証 > 会計照会から回数を変更する。 添付ファイル 【hakuyo3.jpg】 会計照会画面から回数を変更する。 2 - > 1 2 - > 0 添付ファイル 【hakuyo4.jpg】 診療行為画面該当の診療行為が削除された。診療の履歴は残っている。会計照会にて1回目のみ削除した場合、2回目のみ削除した場合どちらも同じ現象となった。回数を0回にした場合も同じ現象となった。 診療行為画面から診療行為を削除 添付ファイル 【hakuyo5.jpg】 診療行為登録画面 診療行為画面から診療行為を削除した。 添付ファイル 【hakuyo6.jpg】 会計照会画面 診療行為画面には履歴も残っていない状態だが、 会計照会画面には回数が1入った状態になっている。</p>	<p>外来分で、既に他の保険で受診がある日に別の保険の剤の回数を追加したことにより現象が発生していました。 連番によって診療会計の回数のテーブル位置を決定しますが他に回数がなかった場合すべて1にしていた為に訂正の対象外になっていました。 追加する受診履歴の連番にあわせた位置に回数を設定するように修正しました。</p>	H18.8.1

24 会計照会

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
2		複数科入力をした受診履歴を診療日変更で別の日に追加した時、収納合計テーブルへ正しくデータの追加ができていませんでしたので修正しました。	複数科入力時に収納再計算プログラムでデータベースアクセスエラーが発生していましたので合わせて修正しました。(sarge版のみ不具合が発生します)	H18.8.25

31 入退院登録

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1		異動取消処理を行うとフリーズすることが判明しましたので修正しました。 (Sarge版のみ不具合が発生します)		H18.9.22

4.2 明細書

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1	nep 20060731-016	運動器リハの発症日の入力の際、病名をコメントコードにて作成しようとする医院さんがいます。 その際のコメントコードですが・・「0082」で作成したコメントだけ、開始日コードと同じ剤に入力してもレセプト記載されません。 他、「0083」「0084」のコメントはきちんとレセプトに記載されます。「0082」以外で作成するよう説明するつもりですが、これはなぜこういう仕様になっているのがご教授ください。	リハ発症日入力の際、疾患名等のコメントを0082で始まるコードで入力した場合、レセプト記載をしていませんでしたので修正しました。	H18.8.25
2	support 20060803-019	6月29日に自賠責で入院した患者のデータで、7月1日から労災扱いに変更した患者で、入院基本料が正しく印刷されていないのではないかとという指摘を受けました。 7月1日～12日までの入院基本料が * 一般病棟 15対 1入院基本料 労災 (2週間超) (1.01倍) 一般病棟入院期間加算 (14日以内) 1392×12 とレセプトに印刷されますが、正しいのは2週間以内で1.3倍になるべきではないかとのことです。 6月29日と30日の診療行為を自賠責の保険組み合わせで登録していたので、その2日間を労災の保険組み合わせに変更したところ、1.3倍になりました。保険組み合わせを無視して入院日のみによって日数の計算をする仕様なのか、それとも不具合なのか教えてください。	保険組合せのチェックに不具合があり、診療年月に該当の保険組合せで入院していた期間が存在しない場合、入院の通算日数が正しく計算できていませんでしたので修正しました。	H18.8.25
3	nep 20060731-010	入院で主保老人と公費 (51) の併用においてですが、入院期間のある特定日の内服薬だけ公費適用にした場合、レセプト実日数の「」欄の日数が特定の内服薬を処方した日数が表示されなければならない、食事療養費は公費適用ではないため、療養の給付欄の「」の「請求円」標準負担金額欄は「0」円を表示してくださいと連合会より注意をうけたと言われました。 現状では実日数の「」欄は0日と表示され、食事療養欄は何も表示されません。 設定等あるのでしょうか？	入院期間中、公費適用となる入力が診療行為のみの場合、入院レセプトの公費食事療養欄を「空白」としていましたが「0」記載するように修正しました。	H18.8.25

4.2 明細書

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
4	ncp 20060804-016	保険はなく生活保護 (012) と結核予防34条 (010) を併用する入院患者のレセプトで90入院の欄の入院基本料の日数が実際の入院日数は31日なのに62日と記載されてしまうという現象がありました。(正しく記載されるレセプトもありました。) 入院会計照会で次月も登録してしまった時に倍の日数を記載されてしまうようなのですが、 入力の誤りなのでしょうか？	入院会計の保険組合せが、例えば、結核34+生保のように、主保険がなく公費が2つ以上となる場合、入院レセプトの90入院欄の入院料の日数が正しく記載されていませんでしたので修正しました。	H18.8.25
5		入院分のレセ電データ作成処理で、医保分の入院会計が存在しない患者(入院料を労災保険で算定し、診療のみ医保で算定したような場合)を処理した場合に処理が停止してしまう不具合が判明しましたので修正しました。 sarge版		H18.8.25
6	お電話でのお問合せ 8/21 船員 レセ電算 病名	月内で船員と下船がある際に、病名をそれぞれ保険指定して入力しましたが、紙レセでは通常どおり記載されるのに対し、電算では全く同じデータが記録されますとのお問合せがありました。 こちらでもV2.9.0で検証しましたところ、同様の結果を生じました。	船員保険で保険者番号と適用開始日が同じで補助区分が違う場合に、保険限定されていても全ての病名を記録していたので修正しました。	H18.8.25

4.2 明細書

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
7	ncp 20060828-006	<p>特定疾患を持つ入院患者で同日に以下のような診療行為を入力した場合、電子申請の診療行為レコードの作成に不具合があり返戻となりました。 レセプトの記載は問題なし</p> <p>老人一割 特定疾患の保険公費で点滴注射を実施 .330 点滴注射 643310293 2 ソルデム3 500ml 2袋 643310347 1 ラクテック注 500ml 1袋</p> <p>老人一割の保険で点滴注射 (手技量なし) を実施 .331 点滴注射 (手技量なし) 643310508 2 生食溶解液キットH 100ml 2Kit 646130367 2*1 プロアクト静注液 1g 2瓶</p> <p>電子請求を行なっているため、緊急の修正をお願いします。</p>	<p>同一日に複数の保険組合せで点滴の入力があった場合、点滴のデータが正しく編集されない不具合がありましたので修正しました。</p>	H18.9.5
8	お電話でのお 問い合わせ 8月 30日 - レセ電 公費負担金額	<p>精神通院で患者の負担金が0円の場合にレセ電の公費レコードの負担金額に一部負担金0円の記録がされないとお問い合わせがありました。国保連合会より0円でよいかと確認のお電話があったとのこと。紙レセの場合には0円と記載されますが、レセ電の場合には記録の必要はないのでしょうか。</p>	<p>「電子レセプトの作成手引き」(平成18年7月)により記載方法が変更されていることを確認しました。紙レセプトと同様に記載するための記録をするように修正しました。</p>	H18.9.5
9	ncp 20060905-009	<p>明細書一括作成を行い、印刷指示画面にて印刷指示を行うときに、指定印刷で国保 (患者番号順) のみ指定し印刷を行いました。国保の処理枚数と印刷の処理枚数 (印刷の処理結果画面) が違ったので確認すると、特別療養費のレセプトも印刷されていました。特別療養費は指定しなかったのですが、なぜでしょうか？</p>	<p>印刷順指定が03または04のとき、国保のレセプトの抽出時に特別療養費のレセプトを除く条件が漏れていましたので修正しました。</p>	H18.9.22
10	お電話でのお 問合せ 9/1 レセ摘要欄 検 査 フィルム 金額	<p>70区分で使用したフィルムは、摘要欄の名称に金額が表示されないのに対し、60区分では金額が印字されますとお問合せがありました。60区分で金額が印字されてしまう理由をご教示いただきたいとのことでした。</p>	<p>画像診断以外でフィルムの入力があった場合、単価を記載していましたが、画像診断と同様に単価を記載しないように修正しました。</p>	H18.9.22

42 明細書

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対 応 内 容	備 考
11	support 20060906-012	一部の診療行為にて、計 21 回の入力があるにもかかわらず、レセプトには 7 回で印字されてくる。	<p>内服薬剤の通減に関するレセプト摘要欄記載について、下記のような日単位で比較した場合に内容が同一となる入力があった場合、摘要欄に正しく記載されない不具合がありましたので修正しました。</p> <p>(例)</p> <p>1日 .211 ラニラピッド0.05mg 1*3 .211 ハルシオン0.25mg錠 1*7 .211 ミカルディス錠 40mg 1 メルカゾール錠 5mg 3 アーチスト錠 2.5mg 1 アルファロールカプセル 0.5ug 1 ワーファリン錠 1mg 2*7 .211 プロテカジン錠 5 5mg 1*7</p> <p>2日 .211 ラニラピッド0.05mg 1*3 .211 ハルシオン0.25mg錠 1*7 .211 ミカルディス錠 40mg 1 メルカゾール錠 5mg 3 アルファロールカプセル 0.5ug 1 ワーファリン錠 1mg 2*7 .211 プロテカジン錠 5 5mg 1 アーチスト錠 2.5mg 1*7</p>	H18.9.22

101 システム管理マスタ

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
1	sarge版3.1.0の特記事項編集情報設定	sarge版の3.1.0で特記事項編集情報設定を複数登録しますと、登録はできるが一覧に正しく表示されず、正しく表示されていないものを選択すると「選択されたデータの読み込みができません」というエラーになります。	修正しました。 sarge版	H18.8.25

102 点数マスタ

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
1	support 20060814-001	Sarge版ORCAの点数マスタの件でご確認をお願いしたいのですが、"点数マスタ一覧"はプレビューも印刷も可能なのですが、"入力コード点数マスタ一覧が、プレビューも印刷も"0"で処理終了してしまい、リストアップできません。 kernel2.4でも2.6でも同様でした。 ご確認をお願いします。	出力するように修正しました。	H18.8.25

CLAIM

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1	support 20060804-023	orca 3.1.0 sarge対応版でのClaim関連での不具合と思われる症状の報告です。 ORCAで会計をすませるとそのデータがclaimファイルとして送信されてきますが、最後のclaimA:classCode="000"の明細の部分で検査の会計が画像診断のところに書かれ、画像診断(レントゲン写真)の場合はこの明細部分のどこにも書かれないようです。	領収書の部別計上対応により収納テーブルを構造変更しましたが、claim送信データの請求項目を新しい収納テーブルに対応させていませんでしたので修正しました。	H18.8.25
2		受付業務からclaim送信をした時にエラーとなる場合が確認できましたので修正しました。		H18.8.25

帳票

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1	orca-forms 1943	<p>下記お問い合わせにつきまして、 日レセVer3.1.0の標準請求書兼領収書 (ORCHCN03V02)でも現象が確認できました。</p> <p>元々「合計点数」欄に「*****」と印字するようになっていますが、Ver3.1.0では「精神科専門療法」欄に印字されます。 631行目あたりの</p> <pre> PERFORM VARYING IDX1 FROM 1 BY 1 UNTIL IDX1 > 11 MOVE SPACE TO HCN03-HKNRYO(IDX1) END-PERFORM MOVE ALL "*" TO HCN03-HKNRYO(12) </pre> <p>を修正することで対応を考えています。標準プログラムも修正が必要となると思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>報告されたとおり入院分の労災・自賠請求書記載について「合計点数」欄への「*****」印字が正しくできていませんでしたので修正しました。</p> <p>カスタマイズを行っている場合は修正をお願いします。 ORCHCN03.CBL ORCHCN03V02.CBL ORCHCN03V03.CBL</p> <pre> ORCHCN03.CBL 633行目辺り (COMB-HKNNUM = "973" AND SYU-PTFTNRATE = ZERO) PERFORM VARYING IDX1 FROM 1 BY 1 - UNTIL IDX1 > 11 + UNTIL IDX1 > 15 MOVE SPACE TO HCN03-HKNRYO(IDX1) END-PERFORM - MOVE ALL "*" TO HCN03-HKNRYO(12) + MOVE ALL "*" TO HCN03-HKNRYO(16) END-IF * * 保険適用分 </pre>	H18.8.1

帳票

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
2		外来請求書で自費分負担金額 (保険適用外) の合計に誤りがありましたので修正しました。	<p>カスタマイズを行っている場合は修正をお願いします。</p> <p>ORCHC03.CBL</p> <p>ORCHC03.CBL 916行目辺り</p> <p>* * 保険適用外分 MOVE ZERO TO WRK-GOKTEN - COMPUTE WRK-GOKTEN = SYU-TGMONEY (12) + SYU-TGMONEY-TAX (12) + COMPUTE WRK-GOKTEN = SYU-TGMONEY (16) + SYU-TGMONEY-TAX (16) MOVE WRK-GOKTEN TO WRK-Z72 PERFORM 800-HENKAN-SEC MOVE WRK-Z72-G TO HC03-HOKENGAI</p>	H18.8.1
3		領収書の部別計上対応により収納テーブルを構造変更しましたが支払証明書のプログラムが対応できていませんでしたので対応しました。		H18.8.25
4	support 20060828-018	月次統計資料として会計カード(有床版)を病棟ごとに出力する際に、病棟番号を指定しても、すべての患者様の分が出力されます。並び順にて病棟ごとに分けて出はきますが、必要な病棟のみの出力ができないようです。	入力パラメタの病棟指定が正しく判定されていませんでしたので修正しました。	H18.9.5
5	お電話でのお 問合せ 9/13 カルテ 3号紙 自費	自費保険で保険外コードのみを入力した場合、保険外項目に金額が印字されないのは仕様でしょうかとのお問合せがありました。 自費保険でも、保険内コード+ 保険外コードが入力されている場合は印字されます。	外来のカルテ3号紙で、自費コード(.950, .960)のみの日について集計対象となっていないため、保険外金額に集計するように修正しました。	H18.9.22

帳票

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
6		薬剤情報提供書について 服用時点をすべて用法コードで指定した場合の条件に誤りがあったので修正しました。 これは用量割合方法コードを使用している場合、指定した服用数量の合計が1日の服用数量と同じだった時服用時点に数量をセットしていませんでした。		H18.9.22

その他

番号	管理番号	問い合わせ (不具合)及び改善内容	対応内容	備考
1		平成18年8月からの老人保健医療改正対応を行いました。	詳しくは改正対応資料をご参照ください。	H18.8.1
2		平成18年8月からの老人保健医療改正対応 (レセプト)を行いました。	マスタ更新を行ってください。 (点数マスタに 099990115 特記事項 15 経過 が追加されます。)	H18.8.25
		<p>経過措置に該当する場合は特記事項欄に「15経過」と記載します。</p> <p>1.平成 18年 8月改正により新たに一定以上所得者と判定された高齢者、かつ、自己負担限度額を”一般”に据え置く経過措置対象者の場合 (健康保険、船員保険、国家公務員共済及び地方公務員等共済の前期高齢者は平成 18年 9月から適用) (公費入力された”978”(一般 (経過措置))の適用期間を経過措置期間とみなす。)</p> <p>2.在宅時医学総合管理料又は在宅末期医療総合診療料を算定している場合 (外来に限る)</p> <p>3.患者負担が自己負担上限額 (外来 12000円・入院 40200)に達した場合、または、公費負担医療に係る給付対象上限額 (外来 12000円・入院 40200)に達した場合</p> <p>上記 1~ 3の全てに該当する場合はシステムによりレセプト特記事項欄に“15経過”と記載します。 (レセプト電算データの場合は“15”を記録します。)</p>	<p>留意事項</p> <p>1.高齢者 2割で地方公費のみの併用の場合、レセプト保険欄の一部負担金額については、公費負担医療に係る給付対象上限額を外来 40200円・入院 72300+ @円として記載しています。今回の改正に伴い、平成 18年 8月診療分以降、左記経過措置対象者については、外来 12000円・入院 40200を上限として記載します。</p> <p>2.月途中で保険の異動があった場合、異動後のレセプトにおいては、異動前の一部負担金も考慮するため、一部負担金が対象金額に達していない場合でも、“15経過”が記載される場合があります。</p> <p>3.長期併用の場合は、上限額が 10000円に達した場合、“15経過”を記載します。</p> <p>4.特記事項“15経過”については、システムにより自動で記載しますが、診療行為入力で“099990115”(特記事項 15経過)を入力した場合についても記載します。</p>	
3		マスタ更新で検査分類マスタの更新プログラムに誤りがありSarge版では正しく更新できませんでしたので修正しました。	woody版では正しく更新できています。が、Sarge版のため次回パッケージアップグレードの際に検査分類マスタを置き換えるようにします。	H18.9.5

11 受付

番号	受付番号	要 望 内 容	対 応 内 容	備 考
1	20050606-002	<p>受付登録について。 国保の患者で患者登録後、後日前期高齢者に該当する年齢になり負担割合が変更になるため患者登録画面にて割合変更登録が必要となりますが、変更を行っていなかった場合、診療行為画面では老人割合が登録されていないとエラー表示が行われます。しかし、受付画面では前期高齢者の年齢に達しているにもかかわらず、受付画面にて登録が行えてしまいます。未確認保険公費欄にて該当国保を“済”にチェックを行った場合も受付登録の際にもエラー表示が行われません。 前期高齢者の場合、国保負担割合の変更によって保険組合せが変わりますので、本来ならば現在有効ではない保険組合せでの受付登録が行われてしまうため、エラー表示を行って下さい。</p>	<p>前期高齢者 老人を入力した時に選択した保険組合せが正しいかチェックするようにしました。老人保健の登録がなく前期高齢者の補助区分が設定されていない時、老人年齢(75歳以上)で老人保健がない時、平成18年10月以降で老人保健が2割の時、国保で前期高齢者到達日以降に確認がない時、警告を表示します。(診療行為と同様のチェックとなります)</p>	

21 診療行為

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1	20060731-002	<p>特定疾患の病名がついている方で、28日以上処方をする場合、長期処方の算定の有無を尋ねるダイアログがでます。このときNOにすると特定疾患処方料が算定できる場合には特定疾患処方料の算定をしてもよいか尋ねるダイアログが表示されます。ところが、既に特定疾患処方料を1回算定していると長期処方料を算定するためには特定疾患処方料を削除するように促すダイアログが出ます。このダイアログを閉じて登録すると、特定疾患処方料が算定できるのに特定疾患処方料算定の有無を尋ねるダイアログが表示されないようです。この場合、2回目の特定疾患処方料を算定するか尋ねるダイアログを表示していただきたいと思えます。</p> <p>特定疾患に関係しない薬剤を28日分投与している方で、1月に2回来院されるとこの状態になります。</p>	<p>特定疾患処方管理加算を算定後、投薬日数が28日以上を算定して長期投薬加算が算定できる時、警告を表示して特定疾患処方管理加算を削除するように促しているが、特定疾患処方管理加算を削除せずに、再度登録を押下した場合、特定疾患処方管理加算を自動発生するかどうかの確認画面を表示させるようにしました。OKで2回目の特定疾患処方管理加算を自動発生します。</p>	
2	20040825-003	<p>入院の診療行為のところ、検査の包括を外来と同じようにならないでしょうか？</p> <p>包括と包括外が入れ子になった時に自動で包括してくれる機能、(600と宣言したときはまとまらないなど)また、同一項目を何度入れても検査項目数にカウントされてしまう(外来は削除メッセージが出る)など包括に関しあまりにも違うため戸惑ってしまうと同時に、全て意識して登録しないといけないため、入力処理に必要以上の時間がかかってしまいます。</p>	<p>入院分の入力画面で包括検査の複数剤の自動まとめを行うボタンを追加しました。</p> <p>画面上部の検査追加ボタンを押下することにより、外来と同様のまとめとチェックを行います。ただし、包括対象検査に日付指定がない時のみです。</p>	
3	20050425-001	<p>曜日により外来の担当医が決まる病院様がございます。</p> <p>処方医の表示において、診療選択や会計の最後での選択ができることは理解しております。</p> <p>その設定を環境設定等で朝一度選択すれば、その日は全て同一医師が設定できるよう要望いたします。</p>	<p>環境設定のシステム設定により診療科毎に担当医を設定できるようにしました。これにより受付 診療行為等のドクター初期表示が変更できます。</p>	

2.2 病名

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1	20060901-002	Ver3.1よりレセプトコメントに、詳記区分を入れる必要があります。診療所ではほぼすべてが「09 レセプト摘要欄コメント」になります。これをデフォルトの「01 主たる疾患の臨床症状」のまま入力してしまうケースが多々出ております。間違っても今度からはレセプトの目視に頼るしかありません。この詳記区分にデフォルト値を設定することはできませんでしょうか？	レセプトコメント登録画面での詳記区分の初期表示をシステム管理で設定できるようにしました。 システム管理の管理番号「1042 病名・コメント機能情報」の「詳記区分初期表示」で詳記区分を設定します。初期表示は「01」です。	
2	support 20060307-020	2月の診療日が3回ある患者さんの自費での病名が明細書に記載されません。 (1) 2月4日 社保 (保険組合せ番号 :0001) (2) 2月18日 自費 (保険組合せ番号 :0002) (3) 2月20日 国保 (保険組合せ番号 :0003) 保険は2月15日までが社保で2月16日から国保へ変わっています。病名登録は(1)について2月15日で転帰を「中止」、保険適用の保険組合せ番号を「0001」とし(3)について2月16日を開始日とし、保険適用の保険組合せ番号を「0003」にしています。 (2)については病名登録しようとするとダイアログが表示されて登録できません。どのようにすれば正しい病名登録と明細書への記載が行えるようになるのでしょうか？	保険限定を行っている病名に対して重複して自費での保険限定ができませんでしたのでできるようにしました。 ただし、重複する病名に保険限定がない場合は労災・自賠責と違い自費も対象となるため重複はできないようにします。	
3	20050927-001	病名機能でご要望をいただきましたのでご連絡させていただきました。 ご要望の内容ですが、病名の自院コードのリスト印刷を診療行為等の入力コードのリスト印刷と同様、カナ順で印刷できるようにしてほしいとのことでした。診療コード順には印刷できますが、コード順ではどの病名がどこに印刷されているかの確認が困難だということでした。よろしければ対応お願い致します。	自院病名コードのリストをユーザがデータ加工して作成できるようにするためCSV形式でファイル出力できるようにしました。 処理を実行したら /tmp/userbyol.csv というファイル名で作成するようにしました。	

2.3 収納

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1	20060303-005	<p>【23収納】の一括入金時に請求書兼領収書を発行する機能の追加をお願いします。</p> <p>発行したい場合現行では、一括入金登録で入金した請求情報を1伝票ずつ「請求確認」画面で照会表示して印刷する、手計算して1伝票ずつ入金登録して発行する、のどちらかしか方法がありません。会計時の時間短縮、オペレータの作業軽減のため、対応願います。</p>	<p>収納登録の一括入金画面からの請求書兼領収書出力を可能としました。</p> <p>1. 外来の請求書兼領収書については発行方法を診療科毎、一纏め等より選択可能です。この際に診療年月が複数月にまたがる場合は月ごとに請求書兼領収書の発行を行います。</p> <p>2. 入院分については伝票（収納）毎に請求書兼領収書の発行を行います。</p> <p>3. (S05)収納登録 - 未収検索画面の機能を拡張し、入返金日での収納検索を可能としました。（画面の名称は未収検索画面から収納検索画面に変更しました。）</p>	
2	20050518-005	<p>複数の診療科での診療をを1枚の領収書にまとめて発行する機能がありますが再発行機能が無いため、同じ領収書をもう一度出力するためには一度全ての診療行為を削除して入れ直す必要があります</p> <p>プリンタが調子悪いときなど、再度同じ領収書を発行したい場合があるので再発行に対応して欲しいと医院様から強く御要望がありました。</p> <p>是非再発行の御対応宜しく願いいたします</p>	<p>収納業務の請求一覧画面より外来複数科まとめの請求書兼領収書を発行できるようにしました。また、外来分の請求書兼領収書については同画面より月毎の請求書兼領収書の発行を行うことを可能としました。</p> <p>それから収納業務より発行する外来請求書兼領収書について前回未収額を編集するようにしました。</p>	

31 入退院登録

番号	受付番号	要 望 内 容	対 応 内 容	備 考
1		医療機関標欠対応	<p>医療機関が「厚生労働大臣が定める医師の員数の基準」を下回った場合に、入院基本料又は入院料の所定点数を減額する対応を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.システム管理の管理番号5000「医療機関入院基本情報」の画面に標欠の取り扱い選択欄を追加しました。 2.システム管理の管理番号5000「医療機関入院基本情報」の有効年月日に準じて入院会計データを作成します。 3.オンライン画面での入院会計データ更新とは別に、年月指定によるパッチ処理での入院会計データ更新を可能としました。(標欠の取消しも可能です。) 	
2		定数超過入院対応	<p>医療機関が「厚生労働大臣の定める患者数の基準」を超えた場合に、入院基本料又は入院料の所定点数を減額する対応を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.システム管理の管理番号5000「医療機関入院基本情報」の画面に定数超過の減額選択欄を追加しました。 2.システム管理の管理番号5000「医療機関入院基本情報」の有効年月日に準じて入院会計データを作成します。 3.定数超過設定は平成18年4月以降から有効となります。 	

32 入院会計照会

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1	20060202-002	5000 :入院時食事療養に (2)を設定し、入院会計照会で特食を入力すると、設定を (2)にしているにも関わらず、(1)に置き換えて尚且つ特食を算定する様です。食事療養 (2)は特食等の加算は取れないので、会計照会画面で加算が入力出来るのはどうかと思います。 5000の食事設定を (2)にしている場合は、会計照会画面で食事を選択しても「食事なし」と「01 :食事療養のみ」の表示にするか、特食を入力しようとした時にエラーメッセージを出すかして下さい。	システム管理の管理番号 5000の「医療機関入院基本情報」で入院時食事療養費 (2)を設定している場合、「02 食事療養 + 特食」への変更登録を不可とするようにしました。	
2	20060515-007	入院会計照会の食事データ変更する時に1日分が一度に変更出来るよう仕様を考えて頂けないでしょうか。	食事内容の変更を行う際に、1日分 (朝、昼、夕)の変更を1回の入力でできるようにしました。 ただし、1日の食事内容が朝～夕まで同一である場合のみ可能としました。 入力は一括修正欄で行います。 1日分をまとめて変更する方法 (例 25日から28日の食事を特食にする場合) (1)食事の剤 (朝、昼、夕のいずれか)を選択した後、一括修正欄で 2/25-28A (今までの入力方法の最後に "A"または小文字の "a")と入力し変更確定する。 (2)食事の剤 (朝、昼、夕のいずれか)を選択した後、診療回数入力欄の25日から28日までの食事を"2"に変更した後、一括修正欄でA (または小文字の a)を入力し変更確定する。 上記 (1)、(2)いずれかの方法で行ってください。	

33 入院定期請求

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1	20050627-008	医療機関様からの要望です。こちらの医療機関様は、15日と末日設定の入院定期請求を行っておりますが、15日に×、発行は別の日に行っております。請求書に表示されている部屋番号を15日現在の部屋番号ではなく、発行日の部屋番号に変更出来る様にして頂けないでしょうか。現在は、手書きで訂正しておりますので、かなりの手間がかかるそうです。	入院の請求書兼領収書について伝票発行日時点の病棟、病室名称の編集を行うようにしました。	

41 データチェック

番号	受付番号	要 望 内 容	対 応 内 容	備 考
1	20060607-005	B001? 2小児科外来診療料ですが同一月において院外処方箋を交付した日がある場合には当該月においては「1保険薬局において調剤を受けるために処方箋を交付する場合」の所定点数により算定する。ただしこの場合であっても院外処方箋を交付している患者に対し、夜間緊急の受診の場合等やむを得ない場合において院内投薬を行う場合は「2 1以外の場合」の所定点数を算定できるが、その場合にはその理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。とありますが、同一月に院内処方をした後、2回目に院外処方だった場合に警告が表示されるようにならないでしょうか？	小児科外来診療料が同一月内に院内 院外の両方で入力があった場合、データチェックにてコメント入力の確認を促す警告メッセージを表示するようにしました。	

42 明細書

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1		自賠責レセプト用紙の枠印刷選択機能 (入、外)	<p>自賠責レセプトで専用用紙を使用しない場合、枠有りのレセプトを作成可能としました。</p> <p>システム管理の管理番号 2005の「レセプト(基本 - 労災・自賠責)」タグ画面にて「自賠責・枠記載区分」(入外別に設定)で、枠有り又は枠無し(既存レセ:専用用紙)の設定を行うことができます。</p> <p>自賠責・枠記載区分 「0 枠を記載しない」 「1 枠を記載する」</p>	
2	20050203-010	<p>システム管理マスタ 2005 レセプト総括印刷情報 画面にて社保国保のレセプトは入院外来別に印刷先プリンタを設定出来ますが労災・自賠責についても、入院外来別に印刷先プリンタを設定したいと弊社サポートの医院様より要望がありました</p>	<p>労災・自賠責のレセプトについて入外別に出力先プリンタの指定が行えるようにしました。</p> <p>システム管理の管理番号 2005「レセプト総括印刷情報」で入外別のプリンタ指定を行います。</p>	

42 明細書

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
3	20060301-013	レセプトを科別発行できるようにしてほしい。	<p>国保連合会提出分についても診療科別請求(主たる診療科での請求)に対応しました。レセプト電算用提出データについてはレセプト共通レコード(REレコード)に診療科コードを記録します。また、診療科別請求(主たる診療科での請求)をする必要がない場合であっても、診療報酬明細書を診療科別(主たる診療科)に出力できるようにしました。この場合は、出力順のみ診療科別(主たる診療科)となり、診療報酬明細書・診療報酬請求書・レセ電データ等の内容については変更部分はありません。</p> <p>1. システム管理の管理番号 2005の「レセプト総括印刷情報」にて「生科設定」タブに「生科社保設定」「生科国保設定」を追加しましたので、社保分と国保分それぞれで主科の設定ができます。</p> <p>「0 しない」 「1 主科」 「2 科別印刷のみ」 ver.3.2.0以前で既に主科設定が行われている場合は、そのまま社保のみ「1 主科」となります。</p> <p>2. 明細書印刷指示画面で診療科に「00 全科」を選択した場合は診療科毎の出力、空白を選択した場合はその他の印刷指示に従って出力を行います。</p> <p>3. 「不明分」「自費」「特別療養費」については、全件印刷時の科毎の出力はできません。</p>	

4.4 総括表 公費請求書

番号	受付番号	要望内容	対応内容	備考
1	20051221-002	<p>鹿児島県ではマル長の別総括(社保)は透析を主にしている医療機関様では必須条件です。要望として何度か掲載されていますが、他メーカーではほとんど対応されておりまして、ぜひ検討して頂きたいです。</p>	<p>透析を行っている医療機関ではマル長分を別総括として提出する必要があるため、システム管理で設定を行うことにより別総括を作成できるようにしました。</p> <p>1.システム管理の管理番号 2005の「レセプト総括印刷情報」にて「総括表」タブの「社保診療報酬請求書」で設定ができます。</p> <p>「0 マル長分を別作成しない」 「1 マル長分を別作成する」 社保分の診療報酬請求書のみ対象とします。</p>	

102 点数マスタ

番号	受付番号	要 望 内 容	対 応 内 容	備 考
1	20051222-002	自院で採用している(入力コードをつけている)薬剤のリストを出したいが、(薬価改訂の時などに必要。薬剤と薬価のみあればいいそうです)抽出データ指定を「自院採用(入力コード登録分)より」に選択すると、1つの薬剤に対してコードが複数あれば、すべてリストアップされます。「表示入力コードのみ」とか、できないでしょうか？	点数マスター一覧、入力コード点数マスター一覧を入力コード順に出力できるようにしました。 点数マスター帳票出力設定画面の「抽出データ指定」に「自院採用(入力コード登録分・表示のみ)より」を選択すると1つの医薬品に対し画面表示される入力コードのみで作成します。また、「出力順指定」に「自院採用コード順」を追加しました。	

22 病名

番号	管理番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1	support 20060915-010	9月15日午後5時ごろ1クライアントが会計業務の22病名をクリックすると、病名番号の欄に "1234567890123456789012345678901234567890 " と出ており病名コードに "12345 "とあり"うたがい" "主病名"等の欄に通常は空白のはずが表示がある。そして、マウスポインタは起動中 (砂時計)を表し閉じることも入力も出来ません。そのほかのクライアントは通常業務は出来ます。タスクの終了で閉じ再起動しても同様になる。解決策をお願いします。他のクライアントがなる前に対処したい	病名登録画面 (C02)について定義体の誤りがありましたので修正しました。	

24 会計照会

番号	受付番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1	ncp 20060907-010	<p>診療行為を訂正で開こうとすると、「更新できません」というメッセージがでて訂正できない、とのことでした。こちらで確認したところ、一日の診療日で、自費と保険で分けて入力をされていました。</p> <p>枝番があり H18.8.18(1)8 H18.8.18(1)9 になっていました。</p> <p>H18.8.18(1)8 を訂正診療でクリックすると「更新できません」となります。 H18.8.18(1)9 は訂正できます。</p> <p>こちらで、検証したところ、枝番 8以外は訂正できますが、枝番 8を訂正しようとする、たしかに、「更新できません」と表示がでて訂正することができませんでした。不具合だと思われませんが、いかがでしょうか。</p>	<p>会計照会で入院の場合、同日に複数保険の受診履歴がある日を受診日変更した場合、変更しなかった受診履歴の同日連番を変更していなかったため変更するように修正しました。</p> <p>H18.7.31(1) 0001 H18.7.31(1)1 0002</p> <p>保険 0001 を 7.30に変更 H18.7.31(1)1 002 になっていたが H18.7.31(1) 002 に変更した (変更していなかった場合、診療行為でH18.7.31を訂正した場合、連番がアップしていた。)</p>	
2		<p>診療日変更 追加処理で、変更後の診療日のチェックを変更しました。</p> <p>入院の場合は、変更日に変更元の診療科 保険組合せで既に受診履歴がある場合は変更できないようにしました。同じ診療科でも異なる保険組合せのみが登録されている場合は、既に受診のある日です。連番号を追加します。よろしいですか? と表示しますので、OKとした場合は同時連番をカウントアップして追加します。</p> <p>外来の場合は、同じ診療科ですでに受診履歴がある場合、既に受診のある日です。連番号を追加します。よろしいですか? と表示しますので、OKとした場合は同時連番をカウントアップして追加します。この時、同時連番が 4以上になる場合、受診の連番号が 3以上になります。訂正での展開ができません。よろしいですか? と表示しますので確認して進めます。</p>		

24 会計照会

番号	受付番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
3	ncp 20060912-004	<p>画像診断の入力についてですが、以下のような入力を行った場合に、診療行為画面では入力可能ですが、セット登録画面ではエラー情報 [0037 数量が上限を超えています] が表示されて登録できません。 ご確認をお願い致します。</p> <p>.700 画像診断 部位コード 170001910 6 単純撮影 (撮影) 170000410 単純撮影 (イ) の写真診断 170000210 デジタル映像化処理 (単純撮影)</p>	<p>セット登録、会計照会の剤変更で、きざみ値がある診療コードの数量が上限値以上の時はエラーにしていたましたが、診療行為と同様にきざみ値エラー処理によってチェックを行うように修正しました。</p>	

52 月次統計

番号	受付番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1		外来月別請求書および外来月別請求書 (自費 10項目対応) を診療行為で発行する請求書兼領収書の帳票レイアウト 出力先で印刷するようにしました。これに伴い、外来月別請求書 (自費 10項目対応) は外来月別請求書に統合しました。		

107 薬剤情報マスタ

番号	受付番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対応内容	備考
1		<p>薬剤情報マスタ登録でチェック方法などを見直しました。</p> <p>(1) 薬剤情報の雛型マスタの参照を行った場合に、薬の画像ファイルの複写処理が完了しないうちにファイルの存在チェックを行っていたので修正しました。</p> <p>(2) 薬剤情報の雛型マスタの参照からマスタを取り込んだ場合、または入力される際に文字数が制限を超えることがあるので、文字数チェック後枠内に収まるよう編集を行なえるように修正しました。</p> <p>(3) 薬剤情報を登録する前に、他の薬剤を選択するなどの作業を行なった場合、登録確認のメッセージを表示するように修正しました。</p>		

帳票

番号	受付番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1		統計表「診療科別医薬品使用量統計」に総合計を追加しました。		

その他

番号	受付番号	問い合わせ (不具合) 及び改善内容	対 応 内 容	備 考
1		マスタ更新画面を変更しました。		

修正内容	
請求書兼 領収書	<p>請求書兼領収書の変更について</p> <p>以下の機能を追加による修正内容です。</p> <p>外来請求書件領収書</p> <ul style="list-style-type: none">・一括入金時の領収書月まとめ出力対応・領収書再発行機能 (複数科含む) 対応・月次統計の外来月別請求書件領収書発行対応 <p>入院請求書件領収書</p> <ul style="list-style-type: none">・定期請求発行日での病棟等情報印字対応・入院時生活療養費対応 <p>1. 収納テーブルに以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・まとめ発行方法フラグ・食費療養費情報を7から10へ増やしました・入院時生活療養費関係 <p>2. 入院診療費請求書兼領収書のレイアウトを変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・項目見出しの「食事負担額」を「食事 生活負担額」へ変更しました。

修正内容

サンプルです。

No. 488		入院診療費請求書兼領収書	
請求期間 平成18年 9月19日～平成18年 9月19日		発行日 平成18年 9月19日	
氏名	日医 五 様	内科	保険種類 国保
患者番号	00105	負担割合	3割
療養病棟 501号室			
初・再診料	点	文書料	円
医学管理等	点		円
在宅医療	点		円
投薬	点		円
注射	点		円
処置	点	自費小計	円
手術	点	自費消費税	円
麻酔	点		
検査	点	自費計	円
画像診断	点	食事・生活負担額	780円
リハビリテーション	点	老人一部負担金	円
精神科専門療法	点	公費一部負担金	円
放射線治療	点	室料差額	円
入院料等	1,710点	調整金	円
	点		
合計点数	1,710点	今回請求額	5,910円
保険分負担金額	5,130円	今回入金額	円
自費分負担金額	円	外来未収額	円
		入院未収額	円

※領収書は再発行いたしかねますので、大切に保管して下さい。
※領収印なき領収書は無効です。

東京都文京区駒込2-28-16
財団法人 日医総研 ニチイ医院
電話 03-3946-0001

領収印

MEMO

修正内容

標準提供プログラムコピー句 CPSYUNOU.INC を次のような内容で修正しましたので参考にして下さい。

1.先頭から328行目辺り

	03 SYU-GRP-RENUM	PIC 9(02).
	*まとめ入力差額	
	03 SYU-GRP-SGKMONEY	PIC S9(07).
+	*まとめ発行方法フラグ	
+	03 SYU-GRP-HAKHOUFLG	PIC 9(01).
	*保証金額	
	03 SYU-SECMONEY	PIC 9(07).
	*保険適用金額	

2.先頭から398行目辺り

	05 SYU-SHOKUJI6	PIC 9(07).
	05 SYU-SHOKUJI7-NISSU	PIC 9(02).
	05 SYU-SHOKUJI7	PIC 9(07).
+	05 SYU-SHOKUJI8-NISSU	PIC 9(02).
+	05 SYU-SHOKUJI8	PIC 9(07).
+	05 SYU-SHOKUJI9-NISSU	PIC 9(02).
+	05 SYU-SHOKUJI9	PIC 9(07).
+	05 SYU-SHOKUJI10-NISSU	PIC 9(02).
+	05 SYU-SHOKUJI10	PIC 9(07).
	03 SYU-SYOKUJI-NAIYOUR	REDEFINES SYU-SHOKUJI-NAIYOU.
-	05 SYU-SYOKUJI-TBL	OCCURS 7.
+	05 SYU-SYOKUJI-TBL	OCCURS 10.
	07 SYU-SHOKUJI-NISSU	PIC 9(02).
	07 SYU-SHOKUJI	PIC 9(07).
	*食事療養費情報(食事日数・食事療養費・標準負担額)	

修正内容

3.先頭から461行目辺り

	*食事負担額（自費：自己負担合計）	
	03 SYU-SKYMONEY-SKJ-JIHI-KEI	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費（保険）	
+	03 SYU-RYOYOHU-LIFE	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費負担額（保険：自己負担）	
+	03 SYU-SKYMONEY-LIFE	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費負担額（保険：自己負担消費税）	
+	03 SYU-SKYMONEY-LIFE-TAX	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費負担額（保険：自己負担合計）	
+	03 SYU-SKYMONEY-LIFE-KEI	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費（自費）	
+	03 SYU-RYOYOHU-LIFE-JIHI	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費負担額（自費：自己負担）	
+	03 SYU-SKYMONEY-LIFE-JIHI	PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費負担額（自費：自己負担消費税）	
+	03 SYU-SKYMONEY-LIFE-JIHI-TAX	
+		PIC 9(07).
+	*入院時生活療養費負担額（自費：自己負担合計）	
+	03 SYU-SKYMONEY-LIFE-JIHI-KEI	
+		PIC 9(07).
	*食事負担（負担額別管理用）	
	03 SYU-SKJ-PTFTN	OCCURS 3.
	05 SYU-SKJ-FTNGAKU	PIC 9(05).

修正内容

標準提供プログラム ORCHC03.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にして下さい。

1.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から193行目辺り)を次の内容に修正します。

```

05 WRK-ZENKAKU      PIC X(02) OCCURS 10.
03 WRK-MOJI         PIC X(10).
03 WRK-MOJISU       PIC 9(02).
+ 03 WRK-LBLSRYMD   PIC X(10).
+ 03 WRK-SRYMDG     PIC X(50).
+ 03 WRK-STSRYYMDG  PIC X(22).
+ 03 WRK-EDSRYYMDG  PIC X(22).
*
*
*****
    
```

2.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から265行目辺り)を次の内容に修正します。

```

01 PTRSI INF-REC.
   COPY "CPPTRSI INF. INC".
*
*   パラメタテーブル
+ 01 PARA-REC.
+   COPY "CPPARA. INC".
+   COPY "CPSYUPARA03. INC".
+
*
*****
*   サブプロ用 領域
*****
    
```

修正内容

3.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から289行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   請求書収納パラメタ
COPY   "CPORCHC03SUB.INC".
*
+   *   印刷 D B 制御サブ
+   COPY   "CPORCSPRT.INC".
+   *
*01  MCPDATA-REC                PIC X(5000).
      COPY   "MCPDATA.INC".
*****COPY   "CPORCMCP.INC".

```

4.000-PROC-SEC SECTION の途中 (先頭から329行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   各 D B 読込
PERFORM 100-SYORI-SEC
*
-   *   IF      ORCHC03-HAKHOUFLG   =   ZERO
-   *   対象の伝票番号分のみ
-   PERFORM 201-ONLY-SYUNOU-SEC
+   *   IF      ( ORCHC03-PARAFLG   =   1 )
+   *   PERFORM 203-PARA-SYUNOU-SEC
*   ELSE
-   *   発行区分による
-   PERFORM 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC
+   *   IF      ORCHC03-HAKHOUFLG   =   ZERO
+   *   対象の伝票番号分のみ
+   PERFORM 201-ONLY-SYUNOU-SEC
+   *   ELSE
+   *   発行区分による
+   PERFORM 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC
+   *   END-IF
+   *   END-IF
*
.

```


修正内容

6 .300-HC03-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から786行目辺り)を次の内容に修正します。

```

END-IF
END-IF
*
  診療日
-   MOVE    SYU-SRYYMD          TO    WRK-SYMD
-   PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
-   MOVE    WRK-HENYMDG         TO    HC03-SRYYMD
+   PERFORM 3101-SRYYMD-HEN-SEC
+   MOVE    WRK-LBLSRYYMD       TO    HC03-LBLSRYYMD
+   MOVE    WRK-SRYYMDG        TO    HC03-SRYYMD
*
  発行日
  MOVE    SYU-DENPPRTYMD       TO    WRK-SYMD
  PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
    
```

7 .203-PARA-SYUNOU-SEC SECTION (先頭から1176行目辺り)を追加します。

```

EXIT.
*
*****
+ *   パラメタテーブルからの印刷処理
+ *****
+ 203-PARA-SYUNOU-SEC          SECTION.
+ *
+   PERFORM 900-PARA-KEY5-SEL-SEC
+ *
+   PERFORM UNTIL ( FLG-PARA   NOT =   ZERO )
+ *
+       MOVE    PARA-DATA-REC    TO    SYUPARA03-AREA
+       MOVE    SYUPARA03-SYU-DATA TO    SYUNOU-REC
+ *
+       MOVE    SYUPARA03-DENPNUM TO    WRK-DENPNUM
+       MOVE    SYUPARA03-SEIKYU  TO    WRK-SKYMONEY
+       MOVE    SYUPARA03-NYUKIN  TO    WRK-NYUKIN
+       MOVE    SYUPARA03-MISYU   TO    WRK-MISYUMONEY
    
```


修正内容

(前ページから続く)

```

+          MOVE    "診療日"          TO WRK-LBLSRYYMD
+          PERFORM 31012-SRYYMD-HEN-SEC
+          ELSE
+          MOVE    "診療日"          TO WRK-LBLSRYYMD
+          MOVE    SYU-SRYYMD        TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE    WRK-HENYMDG       TO WRK-SRYYMDG
+          END-IF
+          END-IF
+          *
+          .
+          3101-SRYYMD-HEN-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   診療日編集処理
+          *****
+          31012-SRYYMD-HEN-SEC      SECTION.
+          *
+          MOVE    SPACE              TO WRK-SRYYMDG
+          *
+          MOVE    SYUPARA03-STSRYYMD TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE    WRK-HENYMDG        TO WRK-STSRYYMDG
+          *
+          MOVE    SYUPARA03-EDSRYYMD TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE    WRK-HENYMDG        TO WRK-EDSRYYMDG
+          *
+          STRING WRK-STSRYYMDG       DELIMITED BY SIZE
+          " ~ "                       DELIMITED BY SIZE
+          WRK-EDSRYYMDG              DELIMITED BY SIZE
+          INTO    WRK-SRYYMDG
+          END-STRING
+          *
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+
+ .
+ 31012-SRYMD-HEN-EXT.
+ EXIT.
+ *****
+ * 西暦日本語変換処理
+ *****
+ 31012-SEIWA-HEN-SEC SECTION.
    
```

9.900-PARA-KEY5-SEL-SEC SECTION (先頭から1461行目辺り) 900-PARA-KEY5-FET-SEC SECTIONを追加します。

```

*
+ .
+ 900-PTINF-READ-EXT.
+ EXIT.
+ *****
+ * パラメータテーブル検索
+ *****
+ 900-PARA-KEY5-SEL-SEC SECTION.
+ *
+ MOVE ZERO TO FLG-PARA
+ *
+ INITIALIZE PARA-REC
+ MOVE ORCHC03-PARA-GYOUMUID
+ TO PARA-GYOUMUID
+ MOVE ORCHC03-PARA-TERMID
+ TO PARA-TERMID
+ MOVE ORCHC03-PARA-FILEMEI
+ TO PARA-FILEMEI
+ MOVE PARA-REC TO MCPDATA-REC
+ MOVE "tbl_para" TO MCP-TABLE
+ MOVE "key5" TO MCP-PATHNAME
+ PERFORM 910-DBSELECT-SEC
+ IF ( MCP-RC = ZERO )
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      PERFORM 900-PARA-KEY5-FET-SEC
+      ELSE
+          MOVE      1          TO  FLG-PARA
+          INITIALIZE          PARA-REC
+      END-IF
+      *
+      .
+      900-PARA-KEY5-SEL-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *   パラメータテーブルFETCH
+      *****
+      900-PARA-KEY5-FET-SEC          SECTION.
+      *
+      MOVE      ZERO          TO  FLG-PARA
+      *
+      MOVE      "tbl_para"     TO  MCP-TABLE
+      MOVE      "key5"        TO  MCP-PATHNAME
+      PERFORM 920-DBFETCH-SEC
+      IF      ( MCP-RC          =  ZERO )
+          MOVE      MCPDATA-REC TO  PARA-REC
+      ELSE
+          MOVE      1          TO  FLG-PARA
+          INITIALIZE          PARA-REC
+      END-IF
+      *
+      .
+      900-PARA-KEY5-FET-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *   収納マスター読込
    
```

修正内容

標準提供プログラム ORCHC03V02.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にして下さい。

1.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から181行目辺り)を次の内容に修正します。

```

05 WRK-ZENKAKU      PIC X(02) OCCURS 10.
03 WRK-MOJI         PIC X(10).
03 WRK-MOJISU       PIC 9(02).
+ 03 WRK-LBLSRYMD   PIC X(10).
+ 03 WRK-SRYMDG     PIC X(50).
+ 03 WRK-STSRYMDG   PIC X(22).
+ 03 WRK-EDSRYYMDG  PIC X(22).
*
*
*****
    
```

2.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から253行目辺り)を次の内容に修正します。

```

01 PTRSI INF-REC.
   COPY "CPPTRSI INF. INC".
*
*   パラメタテーブル
+ 01 PARA-REC.
+   COPY "CPPARA. INC".
+   COPY "CPSYUPARA03. INC".
+
*
*****
*   サブプロ用 領域
*****
    
```

修正内容

3.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から277行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   請求書収納パラメタ
COPY   "CPORCHC03SUB.INC".
*
+   *   印刷 D B 制御サブ
+   COPY   "CPORCSPRT.INC".
+   *
*01  MCPDATA-REC                PIC X(5000).
COPY   "MCPDATA.INC".
****  COPY   "CPORCMCP.INC".

```

4.000-PROC-SEC SECTION の途中 (先頭から317行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   各 D B 読込
PERFORM 100-SYORI-SEC
*
-   *   IF      ORCHC03-HAKHOUFLG   =   ZERO
-   *   対象の伝票番号分のみ
-   PERFORM 201-ONLY-SYUNOU-SEC
+   *   IF      ( ORCHC03-PARAFLG   =   1 )
+   *   PERFORM 203-PARA-SYUNOU-SEC
*   ELSE
-   *   発行区分による
-   PERFORM 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC
+   *   IF      ORCHC03-HAKHOUFLG   =   ZERO
+   *   対象の伝票番号分のみ
+   PERFORM 201-ONLY-SYUNOU-SEC
+   *   ELSE
+   *   発行区分による
+   PERFORM 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC
+   *   END-IF
+   *   END-IF
*

```

修正内容

5.401-PRINT-SEC SECTION (先頭から379行目辺り)を追加します。

```

EXIT.
*
*****
+ *  帳票印刷処理 (印刷D B 出力)
+ *****
+ 401-PRINT-SEC          SECTION.
+ *
+   MOVE   ORCHC03-PRTAREA   TO  ORCSPRTAREA
+ *
+   MOVE   "HCM03V02.red"    TO  SPRT-PRTID
+   MOVE   HCO3              TO  SPRT-PRTDATA
+ *-----*
+   MOVE   "1"               TO  SPRT-SITEKBN
+ *   カスタマイズP Gの場合"2"をセットすること。
+ *   MOVE   "2"              TO  SPRT-SITEKBN
+ *-----*
+   CALL   "ORCSPRT"         USING
+                               ORCSPRTAREA
+   IF     ( SPRT-RETURN     =  ZERO )
+     CONTINUE
+   ELSE
+     DISPLAY "ORCSPRT ERR: PTID = " SPRT-PTID
+   END-IF
+ *
+ .
+ 401-PRINT-EXT.
+   EXIT.
+ *****
+ *   対象の伝票番号分のみ処理
+ *****
+ 201-ONLY-SYUNOU-SEC      SECTION.
    
```

修正内容

6 .300-HC03-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から753行目辺り)を次の内容に修正します。

```

END-IF
END-IF
*
診療日
- MOVE SYU-SRYYMD TO WRK-SYMD
- PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
- MOVE WRK-HENYMDG TO HC03-SRYYMD
+ PERFORM 3101-SRYYMD-HEN-SEC
+ MOVE WRK-LBLSRYYMD TO HC03-LBLSRYYMD
+ MOVE WRK-SRYYMDG TO HC03-SRYYMD
*
発行日
MOVE SYU-DENPPRTYMD TO WRK-SYMD
PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
    
```

7 .203-PARA-SYUNOU-SEC SECTION (先頭から1153行目辺り)を追加します。

```

EXIT.
*
*****
+ * パラメタテーブルからの印刷処理
+ *****
+ 203-PARA-SYUNOU-SEC SECTION.
+ *
+ PERFORM 900-PARA-KEY5-SEL-SEC
+ *
+ PERFORM UNTIL ( FLG-PARA NOT = ZERO )
+ *
+ MOVE PARA-DATA-REC TO SYUPARA03-AREA
+ MOVE SYUPARA03-SYU-DATA TO SYUNOU-REC
+ *
+ MOVE SYUPARA03-DENPNUM TO WRK-DENPNUM
+ MOVE SYUPARA03-SEIKYU TO WRK-SKYMONEY
+ MOVE SYUPARA03-SEIKYU-TAX-SAI
+ TO WRK-SKYMONEY-TAX-SAI
    
```

修正内容	
(前ページから続く)	
+	MOVE SYUPARA03-NYUKIN TO WRK-NYUKIN
+	MOVE SYUPARA03-MISYU TO WRK-MISYUMONEY
+	MOVE SYUPARA03-SRYKAMEI TO WRK-SRYKA-MEI
+	*
+	INITIALIZE HKNCOMBI-REC
+	PTRSI INF-REC
+	IF (SYUPARA03-HKNCOMBI-MAX = 1)
+	PERFORM 1001-HKNCOMBI-HEN-SEC
+	END-IF
+	*
+	MOVE SYUPARA03-HKNCOMBIMEI
+	TO WRK-HKNCOMBIMEI
+	*
+	IF (ORCHC03-PRTKBN = "1")
+	*
+	*
+	帳票編集処理
+	PERFORM 300-HC03-HEN-SEC
+	*
+	*
+	帳票印刷処理
+	PERFORM 401-PRINT-SEC
+	ELSE
+	*
+	*
+	帳票印刷開始処理
+	PERFORM 400-SYOKI-PRINT-SEC
+	*
+	*
+	帳票編集処理
+	PERFORM 300-HC03-HEN-SEC
+	*
+	*
+	帳票印刷処理
+	PERFORM 400-PRINT-SEC
+	END-IF
+	*
+	PERFORM 900-PARA-KEY5-FET-SEC
+	*

修正内容

(前ページから続く)

```

+      END-PERFORM
+      *
+      MOVE    "tbl_para"      TO  MCP-TABLE
+      MOVE    "key5"         TO  MCP-PATHNAME
+      PERFORM 990-DBCLOSE-SEC
+      *
+      .
+      203-PARA-SYUNOU-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      複数診療科編集処理
+      *****
+      2021-GRP-SRYKAMEI-HEN-SEC          SECTION.
    
```

8.3101-SRYYMD-HEN-SEC SECTION (先頭から1328行目辺り)、31012-SRYYMD-HEN-SEC SECTIONを追加します。

```

+      3102-JIHIMSG-HEN-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      診療日編集処理
+      *****
+      3101-SRYYMD-HEN-SEC          SECTION.
+      *
+      MOVE    SPACE          TO  WRK-SRYYMDG
+      *
+      IF      ( ORCHC03-HAKKOF LG = 4 )
+      MOVE    "診療年月"     TO  WRK-LBLSRYYMD
+      MOVE    SYU-SRYYMD     TO  WRK-SYMD
+      PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+      MOVE    WRK-HENYMDG (1:16)
+      *
+      ELSE
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+          IF ( ORCHC03-PARAFLG      = 1 )
+          AND ( SYUPARA03-STSRYYMD NOT = SYUPARA03-EDSRYYMD )
+          MOVE "診療日"          TO WRK-LBLSRYYMD
+          PERFORM 31012-SRYYMD-HEN-SEC
+          ELSE
+          MOVE "診療日"          TO WRK-LBLSRYYMD
+          MOVE SYU-SRYYMD        TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE WRK-HENYMDG       TO WRK-SRYYMDG
+          END-IF
+          END-IF
+          *
+          .
+          3101-SRYYMD-HEN-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   診療日編集処理
+          *****
+          31012-SRYYMD-HEN-SEC      SECTION.
+          *
+          MOVE SPACE                TO WRK-SRYYMDG
+          *
+          MOVE SYUPARA03-STSRYYMD TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE WRK-HENYMDG         TO WRK-STSRYYMDG
+          *
+          MOVE SYUPARA03-EDSRYYMD TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE WRK-HENYMDG         TO WRK-EDSRYYMDG
+          *
+          STRING WRK-STSRYYMDG      DELIMITED BY SIZE
+          " ~ "                DELIMITED BY SIZE
+          WRK-EDSRYYMDG          DELIMITED BY SIZE
+          INTO WRK-SRYYMDG
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      END-STRING
+      *
+      .
+      31012-SRYMD-HEN-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      西暦日本語変換処理
+      *****
+      31012-SEIWA-HEN-SEC      SECTION.
    
```

9.900-PARA-KEY5-SEL-SEC SECTION (先頭から1440行目辺り) 900-PARA-KEY5-FET-SEC SECTIONを追加します。

```

+      *
+      .
+      900-PTINF-READ-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      パラメータテーブル検索
+      *****
+      900-PARA-KEY5-SEL-SEC      SECTION.
+      *
+      MOVE      ZERO      TO      FLG-PARA
+      *
+      INITIALIZE      PARA-REC
+      MOVE      ORCHC03-PARA-GYOUMUID
+      MOVE      ORCHC03-PARA-TERMID      TO      PARA-GYOUMUID
+      MOVE      ORCHC03-PARA-FILEMEI      TO      PARA-TERMID
+      MOVE      ORCHC03-PARA-FILEMEI      TO      PARA-FILEMEI
+      MOVE      PARA-REC      TO      MCPDATA-REC
+      MOVE      "tbl_para"      TO      MCP-TABLE
+      MOVE      "key5"      TO      MCP-PATHNAME
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      PERFORM 910-DBSELECT-SEC
+      IF ( MCP-RC = ZERO )
+      PERFORM 900-PARA-KEY5-FET-SEC
+      ELSE
+      MOVE 1 TO FLG-PARA
+      INITIALIZE PARA-REC
+      END-IF
+      *
+      .
+      900-PARA-KEY5-SEL-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *   パラメータテーブルFETCH
+      *****
+      900-PARA-KEY5-FET-SEC SECTION.
+      *
+      MOVE ZERO TO FLG-PARA
+      *
+      MOVE "tbl_para" TO MCP-TABLE
+      MOVE "key5" TO MCP-PATHNAME
+      PERFORM 920-DBFETCH-SEC
+      IF ( MCP-RC = ZERO )
+      MOVE MCPDATA-REC TO PARA-REC
+      ELSE
+      MOVE 1 TO FLG-PARA
+      INITIALIZE PARA-REC
+      END-IF
+      *
+      .
+      900-PARA-KEY5-FET-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *   収納マスター読込
    
```

修正内容

標準提供プログラム ORCHC03V03.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にして下さい。

1.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から176行目辺り)を次の内容に修正します。

```

05 WRK-ZENKAKU      PIC X(02) OCCURS 10.
03 WRK-MOJI         PIC X(10).
03 WRK-MOJISU      PIC 9(02).
+ 03 WRK-LBLSRYYMD  PIC X(10).
+ 03 WRK-SRYYMDG    PIC X(50).
+ 03 WRK-STSRYYMDG  PIC X(22).
+ 03 WRK-EDSRYYMDG  PIC X(22).
*
*
*****
    
```

2.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から248行目辺り)を次の内容に修正します。

```

01 PTRSI INF-REC.
   COPY "CPPTRSI INF. INC".
*
*   パラメタテーブル
+ 01 PARA-REC.
+   COPY "CPPARA. INC".
+   COPY "CPSYUPARA03. INC".
+
*
*****
*   サブプロ用 領域
*****
    
```

修正内容

3.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から272行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   請求書収納パラメタ
COPY   "CPORCHC03SUB.INC".
*
+   *   印刷 D B 制御サブ
+   COPY   "CPORCSPRT.INC".
+   *
*01  MCPDATA-REC                PIC X(5000).
      COPY   "MCPDATA.INC".
*****COPY   "CPORCMCP.INC".

```

4.000-PROC-SEC SECTION の途中 (先頭から312行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   各 D B 読込
PERFORM 100-SYORI-SEC
*
-   *   IF      ORCHC03-HAKHOUFLG   =   ZERO
-   *   対象の伝票番号分のみ
-   PERFORM 201-ONLY-SYUNOU-SEC
+   *   IF      ( ORCHC03-PARAFLG   =   1 )
+   *   PERFORM 203-PARA-SYUNOU-SEC
*   ELSE
-   *   発行区分による
-   PERFORM 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC
+   *   IF      ORCHC03-HAKHOUFLG   =   ZERO
+   *   対象の伝票番号分のみ
+   PERFORM 201-ONLY-SYUNOU-SEC
+   *   ELSE
+   *   発行区分による
+   PERFORM 202-KAKHOU-SYUNOU-SEC
+   *   END-IF
+   *   END-IF
*
.
```

修正内容

5.401-PRINT-SEC SECTION (先頭から395行目辺り)を追加します。

```

EXIT.
*
*****
+ *  帳票印刷処理 (印刷D B 出力)
+ *****
+ 401-PRINT-SEC          SECTION.
+ *
+   MOVE   ORCHC03-PRTAREA   TO  ORCSPRTAREA
+ *
+   MOVE   "HCM03V03.red"    TO  SPRT-PRTID
+   MOVE   HCO3              TO  SPRT-PRTDATA
+ *-----*
+   MOVE   "1"               TO  SPRT-SITEKBN
+ *   カスタマイズP Gの場合"2"をセットすること。
+ *   MOVE   "2"              TO  SPRT-SITEKBN
+ *-----*
+   CALL   "ORCSPRT"         USING
+                               ORCSPRTAREA
+   IF     ( SPRT-RETURN     =  ZERO )
+     CONTINUE
+   ELSE
+     DISPLAY "ORCSPRT ERR: PTID = " SPRT-PTID
+   END-IF
+ *
+ .
+ 401-PRINT-EXT.
+   EXIT.
+ *****
+ *   対象の伝票番号分のみ処理
+ *****
+ 201-ONLY-SYUNOU-SEC      SECTION.
    
```

修正内容

6 .300-HC03-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から788行目辺り)を次の内容に修正します。

```

END-IF
END-IF
*
診療日
- MOVE SYU-SRYYMD TO WRK-SYMD
- PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
- MOVE WRK-HENYMDG TO HC03-SRYYMD
+ PERFORM 3101-SRYYMD-HEN-SEC
+ MOVE WRK-LBLSRYYMD TO HC03-LBLSRYYMD
+ MOVE WRK-SRYYMDG TO HC03-SRYYMD
*
発行日
MOVE SYU-DENPPRTYMD TO WRK-SYMD
PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
    
```

7 .203-PARA-SYUNOU-SEC SECTION (先頭から1188行目辺り)を追加します。

```

EXIT.
*
*****
+ * パラメタテーブルからの印刷処理
+ *****
+ 203-PARA-SYUNOU-SEC SECTION.
+ *
+ PERFORM 900-PARA-KEY5-SEL-SEC
+ *
+ PERFORM UNTIL ( FLG-PARA NOT = ZERO )
+ *
+ MOVE PARA-DATA-REC TO SYUPARA03-AREA
+ MOVE SYUPARA03-SYU-DATA TO SYUNOU-REC
+ *
+ MOVE SYUPARA03-DENPNUM TO WRK-DENPNUM
+ MOVE SYUPARA03-SEIKYU TO WRK-SKYMONEY
+ MOVE SYUPARA03-SEIKYU-TAX-SAI
+ TO WRK-SKYMONEY-TAX-SAI
    
```


修正内容

(前ページから続く)

```

+          IF ( ORCHC03-PARAFLG      = 1 )
+          AND ( SYUPARA03-STSRYYMD NOT = SYUPARA03-EDSRYYMD )
+          MOVE "診療日"          TO WRK-LBLSRYYMD
+          PERFORM 31012-SRYYMD-HEN-SEC
+          ELSE
+          MOVE "診療日"          TO WRK-LBLSRYYMD
+          MOVE SYU-SRYYMD        TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE WRK-HENYMDG       TO WRK-SRYYMDG
+          END-IF
+          END-IF
+          *
+          .
+          3101-SRYYMD-HEN-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          * 診療日編集処理
+          *****
+          31012-SRYYMD-HEN-SEC      SECTION.
+          *
+          MOVE SPACE                TO WRK-SRYYMDG
+          *
+          MOVE SYUPARA03-STSRYYMD TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE WRK-HENYMDG          TO WRK-STSRYYMDG
+          *
+          MOVE SYUPARA03-EDSRYYMD TO WRK-SYMD
+          PERFORM 31012-SEIWA-HEN-SEC
+          MOVE WRK-HENYMDG          TO WRK-EDSRYYMDG
+          *
+          STRING WRK-STSRYYMDG      DELIMITED BY SIZE
+          " ~ "                      DELIMITED BY SIZE
+          WRK-EDSRYYMDG             DELIMITED BY SIZE
+          INTO WRK-SRYYMDG
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      END-STRING
+      *
+      .
+      31012-SRYMD-HEN-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      西暦日本語変換処理
+      *****
+      31012-SEIWA-HEN-SEC      SECTION.
    
```

9.900-PARA-KEY5-SEL-SEC SECTION (先頭から1480行目辺り) 900-PARA-KEY5-FET-SEC SECTIONを追加します。

```

+      *
+      .
+      900-PTINF-READ-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      パラメタテーブル検索
+      *****
+      900-PARA-KEY5-SEL-SEC      SECTION.
+      *
+      MOVE      ZERO      TO      FLG-PARA
+      *
+      INITIALIZE      PARA-REC
+      MOVE      ORCHC03-PARA-GYOUNUID
+      MOVE      ORCHC03-PARA-TERMID      TO      PARA-GYOUNUID
+      MOVE      ORCHC03-PARA-FILEMEI      TO      PARA-TERMID
+      MOVE      ORCHC03-PARA-FILEMEI      TO      PARA-FILEMEI
+      MOVE      PARA-REC      TO      MCPDATA-REC
+      MOVE      "tbl_para"      TO      MCP-TABLE
+      MOVE      "key5"      TO      MCP-PATHNAME
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      PERFORM 910-DBSELECT-SEC
+      IF ( MCP-RC = ZERO )
+      PERFORM 900-PARA-KEY5-FET-SEC
+      ELSE
+      MOVE 1 TO FLG-PARA
+      INITIALIZE PARA-REC
+      END-IF
+      *
+      .
+      900-PARA-KEY5-SEL-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *   パラメータテーブルFETCH
+      *****
+      900-PARA-KEY5-FET-SEC SECTION.
+      *
+      MOVE ZERO TO FLG-PARA
+      *
+      MOVE "tbl_para" TO MCP-TABLE
+      MOVE "key5" TO MCP-PATHNAME
+      PERFORM 920-DBFETCH-SEC
+      IF ( MCP-RC = ZERO )
+      MOVE MCPDATA-REC TO PARA-REC
+      ELSE
+      MOVE 1 TO FLG-PARA
+      INITIALIZE PARA-REC
+      END-IF
+      *
+      .
+      900-PARA-KEY5-FET-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *   収納マスター読込
    
```

修正内容

標準提供プログラム ORCHCN03.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にご覧ください。

1 .WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から86行目辺り)を次の内容に修正します。

	03	FLG-HKNCOMBI	PIC 9(01).
	03	FLG-SYSKANRI	PIC 9(01).
	03	FLG-PTRSINF	PIC 9(01).
+	03	FLG-PTNYUINRRK	PIC 9(01).
	*		
	03	FLG-SP	PIC 9(01).
	03	FLG-OK	PIC 9(01).

2 .WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から156行目辺り)を次の内容に修正します。

	03	WRK-GAI-MISYU	PIC S9(09).
	03	WRK-NYU-MISYU	PIC S9(09).
	03	WRK-SKYMONEY-SKJ	PIC S9(09).
+	03	WRK-BTUNUM	PIC X(02).
+	03	WRK-BRMNUM	PIC X(06).
	*		
	*	日本語数字	
	01	TBL-SUJI-AREA.	

修正内容

3.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から240行目辺り)を次の内容に修正します。

```

01 PTRSI INF-REC.
   COPY   "CPPTRSI INF. INC".
*
+ *   入院履歴
+ 01 PTNYUINRRK-REC.
+   COPY   "CPPTNYUINRRK. INC".
+ *
+ *****
+ *   サブプロ用 領域
+ *****
    
```

4.2001-HCN03-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から736行目辺り)を次の内容に修正します。

```

MOVE   WRK-KINGAKU-Z      TO  WRK-ZHENSYU12
PERFORM 800-HENKAN-SEC
MOVE   WRK-ZHENSYU24      TO  HCN03-JIHI (8)
- *   食事負担額
+ *   食事・入院時生活療養費負担額
COMPUTE WRK-SKYMONEY-SKJ
        =  SYU-SKYMONEY-SKJ-KEI
        +  SYU-SKYMONEY-SKJ-JIHI-KEI
+       +  SYU-SKYMONEY-LIFE-KEI
+       +  SYU-SKYMONEY-LIFE-JIHI-KEI
MOVE   WRK-SKYMONEY-SKJ    TO  WRK-KINGAKU-Z
MOVE   WRK-KINGAKU-Z      TO  WRK-ZHENSYU12
PERFORM 800-HENKAN-SEC
    
```

修正内容

5.3102-ROOM-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から931行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*****
3102-ROOM-HEN-SEC          SECTION.
*
+      MOVE    SYU-BYOTONUM      TO  WRK-BTUNUM
+      MOVE    SYU-ROOMNUM (3:)  TO  WRK-BRMNUM
+      *
+      *      入院履歴検索処理
+      PERFORM 900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-SEC
+      IF      ( FLG-PTNYUINRRK =  ZERO )
+              MOVE    PTNYUINRRK-BTUNUM
+                      TO  WRK-BTUNUM
+              MOVE    PTNYUINRRK-BRMNUM (3:)
+                      TO  WRK-BRMNUM
+      END-IF
+      *
+      *      病棟情報検索処理
+      PERFORM 3102-SYS-5001-SEL-SEC
+      *
+      *      病室名編集処理
-      MOVE    SYU-ROOMNUM (3 : )
-                      TO  WRK-BRMNUM-IN
+      MOVE    WRK-BRMNUM          TO  WRK-BRMNUM-IN
+      PERFORM 3102-BRMNUM-EDIT-SEC
+      *
+      MOVE    SPACE              TO  WRK-ROOM
    
```


修正内容

6 .3102-SYS-5001-SEL-SEC SECTION の途中 (先頭から978行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   病棟情報検索
MOVE   SPACE           TO   SYS-5001-REC
MOVE   "5001"          TO   SYS-5001-KANR ICD
-     MOVE   SYU-BYOTONUM TO   SYS-5001-KBNCD
+     MOVE   WRK-BTUNUM  TO   SYS-5001-KBNCD
*   システム管理検索
MOVE   SYS-5001-REC    TO   MCPDATA-REC
MOVE   "DBSELECT"     TO   MCP-FUNC
    
```

7 .910-PTRSIINF-READ-SEC SECTION の後ろ (先頭から1494行目辺り)に次の内容を追加します。

```

*
.
910-PTRSIINF-READ-EXT.
+   EXIT.
+   *****
+   *   患者入院履歴検索処理(KEY45)
+   *****
+   900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-SEC SECTION.
+   *
+   MOVE   ZERO           TO   FLG-PTNYUINRRK
+   *
+   INITIALIZE           PTNYUINRRK-REC
+   MOVE   SYU-HOSPID     TO   PTNYUINRRK-HOSPID
+   MOVE   SYU-PTID       TO   PTNYUINRRK-PTID
+   MOVE   SYU-DENPPRTYMD TO   PTNYUINRRK-TENNYUYMD
+   MOVE   PTNYUINRRK-REC TO   MCPDATA-REC
+   MOVE   "tbl_ptnyuinrrk" TO MCP-TABLE
+   MOVE   "key45"        TO   MCP-PATHNAME
+   PERFORM 910-DBSELECT-SEC
+   IF ( MCP-RC = ZERO )
+   MOVE   MCPDATA-REC TO PTNYUINRRK-REC
+   ELSE
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+          INITIALIZE          PTNYUINRRK-REC
+          MOVE      1          TO  FLG-PTNYUINRRK
+          END-IF
+          *
+          MOVE      "tbl_ptnyuinrrk" TO MCP-TABLE
+          MOVE      "key45"          TO MCP-PATHNAME
+          PERFORM  910-DBCLOSECURSOR-SEC
+          *
+          .
+          *
+          900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   D B 検索処理
+          *****
+          910-DBSELECT-SEC          SECTION.
+          *
+          MOVE      "DBSELECT"      TO MCP-FUNC
+          CALL      "MONFUNC"       USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+          IF      ( MCP-RC          = ZERO )
+          PERFORM  910-DBFETCH-SEC
+          END-IF
+          *
+          .
+          *
+          910-DB-SELECT-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   D B 読み込み処理
+          *****
+          910-DBFETCH-SEC          SECTION.
+          *
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      MOVE      "DBFETCH"      TO MCP-FUNC
+      CALL      "MONFUNC"      USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+
+      *
+      .
+      *
+      910-DBFETCH-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      D B クローズ処理
+      *****
+      910-DBCLOSECURSOR-SEC          SECTION.
+      *
+      MOVE      "DBCLOSECURSOR"  TO MCP-FUNC
+      CALL      "MONFUNC"      USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+
+      *
+      .
+      *
+      910-DBCLOSECURSOR-EXT.
+      EXIT.
    
```

修正内容

標準提供プログラム ORCHCN03V02.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にご覧ください。

1 .WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から80行目辺り)を次の内容に修正します。

	03	FLG-HKNCOMBI	PIC 9(01).
	03	FLG-SYSKANRI	PIC 9(01).
	03	FLG-PTRSINF	PIC 9(01).
+	03	FLG-PTNYUINRRK	PIC 9(01).
	*		
	03	FLG-SP	PIC 9(01).
	03	FLG-OK	PIC 9(01).

2 .WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から151行目辺り)を次の内容に修正します。

	03	WRK-GAI-MISYU	PIC S9(09).
	03	WRK-NYU-MISYU	PIC S9(09).
	03	WRK-SKYMONEY-SKJ	PIC S9(09).
+	03	WRK-BTUNUM	PIC X(02).
+	03	WRK-BRMNUM	PIC X(06).
	*		
	*	日本語数字	
	01	TBL-SUJI-AREA.	

修正内容

3.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から235行目辺り)を次の内容に修正します。

```

01 PTRSI INF-REC.
   COPY   "CPPTRSI INF. INC".
*
+ *   入院履歴
+ 01 PTNYUINRRK-REC.
+   COPY   "CPPTNYUINRRK. INC".
+ *
+ *****
+ *   サブプロ用 領域
+ *****
    
```

4.2001-HCN03-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から749行目辺り)を次の内容に修正します。

```

MOVE   WRK-KINGAKU-Z      TO  WRK-ZHENSYU12
PERFORM 800-HENKAN-SEC
MOVE   WRK-ZHENSYU24      TO  HCN03-JIHI (6)
- *   食事負担額
+ *   食事・入院時生活療養費負担額
COMPUTE WRK-SKYMONEY-SKJ
        =  SYU-SKYMONEY-SKJ-KEI
        +  SYU-SKYMONEY-SKJ-JIHI-KEI
+       +  SYU-SKYMONEY-LIFE-KEI
+       +  SYU-SKYMONEY-LIFE-JIHI-KEI
MOVE   WRK-SKYMONEY-SKJ   TO  WRK-KINGAKU-Z
MOVE   WRK-KINGAKU-Z      TO  WRK-ZHENSYU12
PERFORM 800-HENKAN-SEC
    
```

修正内容

5.3102-ROOM-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から957行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*****
3102-ROOM-HEN-SEC          SECTION.
*
+      MOVE    SYU-BYOTONUM      TO  WRK-BTUNUM
+      MOVE    SYU-ROOMNUM (3:)  TO  WRK-BRMNUM
+
+      *
+      *      入院履歴検索処理
+      PERFORM 900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-SEC
+      IF      ( FLG-PTNYUINRRK =  ZERO )
+              MOVE    PTNYUINRRK-BTUNUM
+                      TO  WRK-BTUNUM
+              MOVE    PTNYUINRRK-BRMNUM (3:)
+                      TO  WRK-BRMNUM
+
+      END-IF
+
+      *
+      *      病棟情報検索処理
+      PERFORM 3102-SYS-5001-SEL-SEC
+
+      *
+      *      病室名編集処理
-      MOVE    SYU-ROOMNUM (3 : )
-
+      MOVE    WRK-BRMNUM          TO  WRK-BRMNUM-IN
+      PERFORM 3102-BRMNUM-EDIT-SEC
+
+      *
+      MOVE    SPACE              TO  WRK-ROOM
    
```

修正内容

6 .3102-SYS-5001-SEL-SEC SECTION の途中 (先頭から1004行目辺り)を次の内容に修正します。

```

* 病棟情報検索
MOVE SPACE TO SYS-5001-REC
MOVE "5001" TO SYS-5001-KANR ICD
- MOVE SYU-BYOTONUM TO SYS-5001-KBNCD
+ MOVE WRK-BTUNUM TO SYS-5001-KBNCD
* システム管理検索
MOVE SYS-5001-REC TO MCPDATA-REC
MOVE "DBSELECT" TO MCP-FUNC
    
```

7 .910-PTRSIINF-READ-SEC SECTION の後ろ (先頭から1520行目辺り)に次の内容を追加します。

```

*
.
910-PTRSIINF-READ-EXT.
+ EXIT.
+ *****
+ * 患者入院履歴検索処理(KEY45)
+ *****
+ 900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-SEC SECTION.
+ *
+ MOVE ZERO TO FLG-PTNYUINRRK
+ *
+ INITIALIZE PTNYUINRRK-REC
+ MOVE SYU-HOSPID TO PTNYUINRRK-HOSPID
+ MOVE SYU-PTID TO PTNYUINRRK-PTID
+ MOVE SYU-DENPPRTYMD TO PTNYUINRRK-TENNYUYMD
+ MOVE PTNYUINRRK-REC TO MCPDATA-REC
+ MOVE "tbl_ptnyuinrrk" TO MCP-TABLE
+ MOVE "key45" TO MCP-PATHNAME
+ PERFORM 910-DBSELECT-SEC
+ IF ( MCP-RC = ZERO )
+ MOVE MCPDATA-REC TO PTNYUINRRK-REC
+ ELSE
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+          INITIALIZE          PTNYUINRRK-REC
+          MOVE      1          TO  FLG-PTNYUINRRK
+          END-IF
+          *
+          MOVE      "tbl_ptnyuinrrk" TO MCP-TABLE
+          MOVE      "key45"          TO MCP-PATHNAME
+          PERFORM  910-DBCLOSECURSOR-SEC
+          *
+          .
+          *
+          900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   D B 検索処理
+          *****
+          910-DBSELECT-SEC          SECTION.
+          *
+          MOVE      "DBSELECT"      TO MCP-FUNC
+          CALL      "MONFUNC"       USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+          IF      ( MCP-RC          = ZERO )
+          PERFORM  910-DBFETCH-SEC
+          END-IF
+          *
+          .
+          *
+          910-DB-SELECT-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   D B 読み込み処理
+          *****
+          910-DBFETCH-SEC          SECTION.
+          *
    
```


修正内容

(前ページから続く)

```

+      MOVE      "DBFETCH"      TO MCP-FUNC
+      CALL      "MONFUNC"      USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+
+      *
+      .
+      *
+      910-DBFETCH-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      D B クローズ処理
+      *****
+      910-DBCLOSECURSOR-SEC          SECTION.
+      *
+      MOVE      "DBCLOSECURSOR"  TO MCP-FUNC
+      CALL      "MONFUNC"      USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+
+      *
+      .
+      *
+      910-DBCLOSECURSOR-EXT.
+      EXIT.
    
```

修正内容

標準提供プログラム ORCHCN03V03.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にしてください。

1 .WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から78行目辺り)を次の内容に修正します。

	03	FLG-HKNCOMBI	PIC 9(01).
	03	FLG-SYSKANRI	PIC 9(01).
	03	FLG-PTRSINF	PIC 9(01).
+	03	FLG-PTNYUINRRK	PIC 9(01).
	*		
	03	FLG-SP	PIC 9(01).
	03	FLG-OK	PIC 9(01).

2 .WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から149行目辺り)を次の内容に修正します。

	03	WRK-GAI-MISYU	PIC S9(09).
	03	WRK-NYU-MISYU	PIC S9(09).
	03	WRK-SKYMONEY-SKJ	PIC S9(09).
+	03	WRK-BTUNUM	PIC X(02).
+	03	WRK-BRMNUM	PIC X(06).
	*		
	*	日本語数字	
	01	TBL-SUJI-AREA.	

修正内容

3.WORKING-STORAGE SECTION の途中 (先頭から233行目辺り)を次の内容に修正します。

```

01 PTRSI INF-REC.
   COPY   "CPPTRSI INF. INC".
*
+ *   入院履歴
+ 01 PTNYUINRRK-REC.
+   COPY   "CPPTNYUINRRK. INC".
+ *
+ *****
+ *   サブプロ用 領域
+ *****
    
```

4.2001-HCN03-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から745行目辺り)を次の内容に修正します。

```

MOVE   WRK-KINGAKU-Z      TO  WRK-ZHENSU12
PERFORM 800-HENKAN-SEC
MOVE   WRK-ZHENSU24      TO  HCN03-JIHI(11)
- *   食事負担額
+ *   食事・入院時生活療養費負担額
COMPUTE WRK-SKYMONEY-SKJ
        =  SYU-SKYMONEY-SKJ-KEI
        +  SYU-SKYMONEY-SKJ-JIHI-KEI
+       +  SYU-SKYMONEY-LIFE-KEI
+       +  SYU-SKYMONEY-LIFE-JIHI-KEI
MOVE   WRK-SKYMONEY-SKJ   TO  WRK-KINGAKU-Z
MOVE   WRK-KINGAKU-Z     TO  WRK-ZHENSU12
PERFORM 800-HENKAN-SEC
    
```

修正内容

5.3102-ROOM-HEN-SEC SECTION の途中 (先頭から953行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*****
3102-ROOM-HEN-SEC          SECTION.
*
+      MOVE    SYU-BYOTONUM      TO  WRK-BTUNUM
+      MOVE    SYU-ROOMNUM (3:)  TO  WRK-BRMNUM
+      *
+      *      入院履歴検索処理
+      PERFORM 900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-SEC
+      IF      ( FLG-PTNYUINRRK =  ZERO )
+              MOVE    PTNYUINRRK-BTUNUM
+                      TO  WRK-BTUNUM
+              MOVE    PTNYUINRRK-BRMNUM (3:)
+                      TO  WRK-BRMNUM
+      END-IF
+      *
+      *      病棟情報検索処理
+      PERFORM 3102-SYS-5001-SEL-SEC
+      *
+      *      病室名編集処理
-      MOVE    SYU-ROOMNUM (3 : )
-                      TO  WRK-BRMNUM-IN
+      MOVE    WRK-BRMNUM          TO  WRK-BRMNUM-IN
+      PERFORM 3102-BRMNUM-EDIT-SEC
+      *
+      MOVE    SPACE              TO  WRK-ROOM
    
```

修正内容

6 .3102-SYS-5001-SEL-SEC SECTION の途中 (先頭から1000行目辺り)を次の内容に修正します。

```

*   病棟情報検索
MOVE   SPACE           TO   SYS-5001-REC
MOVE   "5001"          TO   SYS-5001-KANR ICD
-     MOVE   SYU-BYOTONUM TO   SYS-5001-KBNCD
+     MOVE   WRK-BTUNUM  TO   SYS-5001-KBNCD
*   システム管理検索
MOVE   SYS-5001-REC    TO   MCPDATA-REC
MOVE   "DBSELECT"     TO   MCP-FUNC
    
```

7 .910-PTRSIINF-READ-SEC SECTION の後ろ (先頭から1531行目辺り)に次の内容を追加します。

```

*
.
910-PTRSIINF-READ-EXT.
+   EXIT.
+   *****
+   *   患者入院履歴検索処理(KEY45)
+   *****
+   900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-SEC SECTION.
+   *
+   MOVE   ZERO           TO   FLG-PTNYUINRRK
+   *
+   INITIALIZE           PTNYUINRRK-REC
+   MOVE   SYU-HOSPID     TO   PTNYUINRRK-HOSPID
+   MOVE   SYU-PTID       TO   PTNYUINRRK-PTID
+   MOVE   SYU-DENPPRTYMD TO   PTNYUINRRK-TENNYUYMD
+   MOVE   PTNYUINRRK-REC TO   MCPDATA-REC
+   MOVE   "tbl_ptnyuinrrk" TO MCP-TABLE
+   MOVE   "key45"        TO   MCP-PATHNAME
+   PERFORM 910-DBSELECT-SEC
+   IF ( MCP-RC = ZERO )
+   MOVE   MCPDATA-REC TO PTNYUINRRK-REC
+   ELSE
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+          INITIALIZE          PTNYUINRRK-REC
+          MOVE      1          TO  FLG-PTNYUINRRK
+          END-IF
+          *
+          MOVE      "tbl_ptnyuinrrk" TO MCP-TABLE
+          MOVE      "key45"          TO MCP-PATHNAME
+          PERFORM  910-DBCLOSECURSOR-SEC
+          *
+          .
+          *
+          900-PTNYUINRRK-KEY45-SEL-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   D B 検索処理
+          *****
+          910-DBSELECT-SEC          SECTION.
+          *
+          MOVE      "DBSELECT"      TO MCP-FUNC
+          CALL      "MONFUNC"       USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+          IF      ( MCP-RC          = ZERO )
+          PERFORM  910-DBFETCH-SEC
+          END-IF
+          *
+          .
+          *
+          910-DB-SELECT-EXT.
+          EXIT.
+          *****
+          *   D B 読み込み処理
+          *****
+          910-DBFETCH-SEC          SECTION.
+          *
    
```

修正内容

(前ページから続く)

```

+      MOVE      "DBFETCH"      TO MCP-FUNC
+      CALL      "MONFUNC"      USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+
+      *
+      .
+      *
+      910-DBFETCH-EXT.
+      EXIT.
+      *****
+      *      D B クローズ処理
+      *****
+      910-DBCLOSECURSOR-SEC          SECTION.
+      *
+      MOVE      "DBCLOSECURSOR"  TO MCP-FUNC
+      CALL      "MONFUNC"      USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+
+      *
+      .
+      *
+      910-DBCLOSECURSOR-EXT.
+      EXIT.
    
```

修正内容	
処方せん	<p>備考欄記載の変更について</p> <p>平成18年10月から高齢者の給付割合が改定され7割給付が追加となりました。これに伴い、現行の処方せんプログラムでは備考欄へ給付割合に応じて(高9)(高8)と記載していましたが、(高7)の記載を追加します。よって、カスタマイズプログラムは見直しを行う必要があります。</p> <p>標準提供プログラム ORCHCM19.CBL を次のような内容で修正しましたので参考にして下さい。</p> <p>1.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中(先頭から1285行目辺り)を次の内容に修正します。</p> <pre> MOVE 1 TO FLG-RJNHKN WHEN "2" MOVE 2 TO FLG-RJNHKN + *---(03.02.00) LINE ADD START ----- + WHEN "3" + MOVE 3 TO FLG-RJNHKN + *---(03.02.00) LINE ADD END ----- END-EVALUATE * 以外 WHEN OTHER </pre> <p>2.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中(先頭から1309行目辺り)を次の内容に修正します。</p> <pre> WHEN "F" * 2割 MOVE 2 TO FLG-RJNHKN + *---(03.02.00) LINE ADD START ----- + WHEN "7" + WHEN "G" + WHEN "H" + WHEN "I" + MOVE 3 TO FLG-RJNHKN + *---(03.02.00) LINE ADD END ----- END-EVALUATE END-IF END-EVALUATE </pre>

修正内容

3.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中 (先頭から1330行目辺り)を次の内容に修正します。

```

      WHEN      "02"
*          2割
          MOVE   2          TO  FLG-RJNHKN
+ * --- (03.02.00) LINE ADD START -----
+          WHEN      "03"
*          3割
+          MOVE   3          TO  FLG-RJNHKN
+ * --- (03.02.00) LINE ADD END -----
      END-EVALUATE
      WHEN      COMB-KOH2HKNNUM      = "027"
      EVALUATE   COMB-KOH2PAYKBN

```

4.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中 (先頭から1342行目辺り)を次の内容に修正します。

```

          MOVE   1          TO  FLG-RJNHKN
          WHEN      "02"
          MOVE   2          TO  FLG-RJNHKN
+ * --- (03.02.00) LINE ADD START -----
+          WHEN      "03"
*          3割
+          MOVE   3          TO  FLG-RJNHKN
+ * --- (03.02.00) LINE ADD END -----
      END-EVALUATE
      WHEN      COMB-KOH3HKNNUM      = "027"
      EVALUATE   COMB-KOH3PAYKBN

```

修正内容

5.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中 (先頭から1354行目辺り)を次の内容に修正します。

```

                MOVE 1          TO FLG-RJNHKN
                WHEN "02"
                MOVE 2          TO FLG-RJNHKN
+ *---(03.02.00) LINE ADD START -----
+                WHEN "03"
+ *
+                3割
+                MOVE 3          TO FLG-RJNHKN
+ *---(03.02.00) LINE ADD END -----
                END-EVALUATE
                WHEN COMB-KOH4HKNNUM = "027"
                EVALUATE COMB-KOH4PAYKBN
    
```

6.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中 (先頭から1366行目辺り)を次の内容に修正します。

```

                MOVE 1          TO FLG-RJNHKN
                WHEN "02"
                MOVE 2          TO FLG-RJNHKN
+ *---(03.02.00) LINE ADD START -----
+                WHEN "03"
+ *
+                3割
+                MOVE 3          TO FLG-RJNHKN
+ *---(03.02.00) LINE ADD END -----
                END-EVALUATE
                END-EVALUATE
+
    
```

修正内容

7.4001-DB-KENSAKU-SEC SECTION の途中 (先頭から1379行目辺り)を次の内容に修正します。

```
          MOVE  "(高9)"          TO  WRK-BIKOU
          WHEN  2
          MOVE  "(高8)"          TO  WRK-BIKOU
+  *---(03.02.00) LINE ADD  START  -----
+          WHEN  3
+          MOVE  "(高7)"          TO  WRK-BIKOU
+  *---(03.02.00) LINE ADD  END    -----
          END-EVALUATE
*
.
```

	修正内容
MONFUNC	<p>データベースアクセス関数「MONFUNC」対応について</p> <p>データベースアクセス関数「MONFUNC」への移行は、システムのメモリ使用量を僅かでも削減し、そのリソースをデータベースシステムなどバックエンドプロセスへ割り当てるために必要な対処と考えます。</p> <p>今までの「MCPSUB」では、COBOLからデータベースアクセス処理を行うために～.ld、～.bdのdb定義に記述されたスキーマの順番に相対番号をつけ、この相対番号によりアクセスするテーブルおよびkeyを決定していました。これをCOBOLで統一的に管理するためにCOPY句「ORCA-DBPATH」を用いて対応していましたが、この為には「ORCA-DBPATH」に全テーブルを記述しておく必要がありました。これにより、各業務で不必要なテーブルであっても定義する必要があり、それにより無駄なメモリが消費されてしまうという状況でした。</p> <p>今回の「MONFUNC」では、COBOLからアクセスするテーブル名およびkey名を直接指定できるようになりましたので～.ld、～.bdには、必要なスキーマのみ記述を行うことで無駄なメモリを消費しなくてもよくなります。</p> <p>dbstub により実行を行うバッチプログラムでは、「MONFUNC」へ移行しなくても、従来の「MCPSUB」で動作します。各ベンダー、ユーザにより作成された診療報酬請求関係プログラムや統計プログラムなどがかなりの数に達しているため～.bdについては当面チューニングを行う予定はありません。ですが、作成されたプログラムは随時「MONFUNC」への対応を進めていただきますようお願いいたします。</p> <p>データベースアクセスファンクション「DBCLOSE」、 「DBCLOSECURSOR」の使用について</p> <p>「MONFUNC」対応に併せてこのことにもご留意願います。</p> <p>データベースにおけるカーソルクローズ用のファンクションとして「DBCLOSE」、 「DBCLOSECURSOR」を使用しています。「DBCLOSECURSOR」は、PostgreSQLのバージョンがアップされた場合（sarge対応版）に対応したものです。sarge対応版におけるPostgreSQL(7.4予定)では、オープンしたカーソルは必ずクローズする必要があるためカーソルクローズ用のファンクションとして追加されたものです。PostgreSQL(7.2)では、明示的にカーソルクローズする必要はありませんでした。</p> <p>sa rge対応版では必須となります。</p>

修正内容	
修正例	<p>データベースアクセス関数「MONFUNC」への移行について データベースのアクセスロジックで使用していたサブルーチン「ORCMCPSUB」(あるいは「MCPSUB」)をすべて「MONFUNC」に統一します。</p> <p>1 .WORKING-STORAGE SECTION の途中を次の内容に修正します。 ORCMCPSUBで使用する連絡領域を削除します。</p> <pre>* *01 MCPDATA-REC PIC X(5000). COPY "MCPDATA.INC". - COPY "CPORCMCP.INC". + *****COPY "CPORCMCP.INC". * COPY "MCPAREA". *</pre>

修正内容

患者情報を取得する部分を例に説明します。

2.900-PTINF-READ-SEC SECTION の途中を次の内容に修正します。

```

900-PTINF-READ-SEC      SECTION.
*
      MOVE      PTINF-REC      TO      MCPDATA-REC
-      MOVE      "DBSELECT"    TO      MCP-FUNC
-      MOVE      "PTINF-KEY"   TO      ORC-DBPATH
-      CALL      "ORCMCPSUB"   USING
-                                     MCPAREA
-                                     ORCMCPAREA
-                                     MCPDATA-REC
+      MOVE      "tbl_ptinf"   TO      MCP-TABLE
+      MOVE      "key"         TO      MCP-PATHNAME
+      PERFORM  910-DBSELECT-SEC
      IF      MCP-RC          =      ZERO
-          MOVE      "DBFETCH"  TO      MCP-FUNC
-          MOVE      "PTINF-KEY" TO      ORC-DBPATH
-          CALL      "ORCMCPSUB" USING
-                                     MCPAREA
-                                     ORCMCPAREA
-                                     MCPDATA-REC
+          MOVE      "tbl_ptinf" TO      MCP-TABLE
+          MOVE      "key"       TO      MCP-PATHNAME
+          CALL      "MONFUNC"   USING
+                                     MCPAREA
+                                     MCPDATA-REC
+          IF      MCP-RC          =      ZERO
-              MOVE      MCPDATA-REC TO      PTINF-REC
-              MOVE      ZERO      TO      FLG-PTINF

```

アクセスするテーブルとパスキーを識別する固定値を ORC-DBPATH へ格納し、サブルーチン ORCMCPSUB を呼び出していました。これを、アクセスするテーブルの名称は MCP-TABLE へ、パスキー名は MCP-PATHNAME へそれぞれ格納し、サブルーチン MONFUNC を呼び出すように変更します。

上記の変更内容では、サブルーチン MONFUNC を呼び出す部分を 910-DBSELECT-SEC セクション (後述)で行っています。

修正内容

3.900-PTINF-READ-SEC SECTION の途中を次の内容に修正します。

```
ELSE
  MOVE      1          TO  FLG-PTINF
END-IF
-   MOVE     "DBCLOSECURSOR"  TO  MCP-FUNC
-   MOVE     "PTINF-KEY"      TO  ORC-DBPATH
-   CALL     "ORCMCPSUB"      USING
-                                     MCPAREA
-                                     ORCMCPAREA
-                                     MCPDATA-REC
+   MOVE     "tbl_ptinf"      TO  MCP-TABLE
+   MOVE     "key"           TO  MCP-PATHNAME
+   PERFORM  990-DBCLOSE-SEC
*
.
900-PTINF-READ-EXT.
```

DBCLOSECURSOR の処理でも同様にテーブル名とパスキー名を指定してサブルーチン MONFUNC を呼び出します。
上記の変更内容では、サブルーチン MONFUNC を呼び出す部分を 990-DBCLOSE-SEC セクション (後述)で行っています。

修正内容

4.993-PTRSIINF-NEXT-SEC SECTION の後に次の内容を追加します。

```

993-PTSRIINF-NEXT-EXT.
EXIT.
*---(01.00.07) LINE ADD END -----
*****
+
+ * テーブル検索処理
+ *****
+
+ 910-DBSELECT-SEC SECTION.
+ *
+ MOVE "DBSELECT" TO MCP-FUNC
+ CALL "MONFUNC" USING
+ MCPAREA
+ MCPDATA-REC
+ *
+
+ 910-DBSELECT-EXT.
+ EXIT.
+ *
+ *****
+ * テーブルクローズ処理
+ *****
+
+ 990-DBCLOSE-SEC SECTION.
+ *
+ MOVE "DBCLOSECURSOR" TO MCP-FUNC
+ CALL "MONFUNC" USING
+ MCPAREA
+ MCPDATA-REC
+ *
+
+ 990-DBCLOSE-EXT.
+ EXIT.
+ *
+ *****
+ * 終了 処理

```

910-DBSELECT-SEC セクションと990-DBCLOSE-SEC セクションです。